

銀行業から未来創造業へ



名古屋銀行

2025年9月期 中間期ディスクロージャー誌

2025年4月1日～2025年9月30日



名古屋銀行プロフィール（2025年9月30日現在）

商 号	株式会社名古屋銀行
設 立	1949年2月24日
総資産（連結）	6兆1,010億円
預 金 （譲渡性預金含む）	5兆3,311億円
貸 出 金	4兆1,257億円
資 本 金	250億円
連結総自己資本比率 （国際統一基準）	11.99%
従 業 員 数	1,830名
拠 点 数	国内 113カ店
	本支店 112
	出張所 1
	海外 1カ店
	海外支店 1

社 是

地域社会の繁栄に奉仕する
これが銀行の発展と行員の幸福を
併せもたらすものである

行 訓

- 1.よいサービス
誠意があふれ 行き届いた スピーディな
サービス
- 2.よい人
人を高め 人を厚くし 明るい職場をつくる
- 3.よい経営
健全で 創意に富んだ 全員参加の経営



Contents

業績ハイライト（2025年度中間期）	1
中小企業経営の支援及び地域活性化の取り組み	3
資料編	
連結情報	4
中間連結財務諸表	5
連結リスク管理債権および金融再生法開示債権	18
単体情報	19
中間財務諸表	20
損益の状況	26
営業の状況	28
時価情報	34
デリバティブ取引情報	35
電子決済手段	36
暗号資産	36
株式の状況	37
バーゼルⅢ 第3の柱に基づく開示	38
自己資本の構成に関する開示事項	38
定性的な開示事項	54
定量的な開示事項	55
レバレッジ比率に関する開示事項	86
経営の健全性の状況のうち流動性に係る 健全性を判断するための基準に係る事項	90
流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項	90
安定調達比率に関する定性的開示事項	90
流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項	91
安定調達比率に関する定量的開示事項	93
組織の状況	95

本冊子は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料
（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比と異なる可能性があることにご留意ください。
なお、商品・サービスの詳細につきましては、お近くの営業店窓口までお問い合わせください。

業績ハイライト (2025年度中間期)

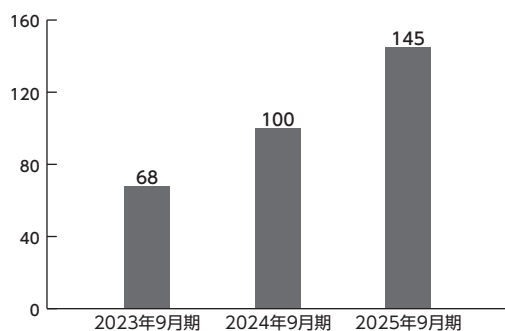
■ 損益の状況 (単体)

銀行本来業務から得られる利益であるコア業務純益は、前年同期比44億円増加し145億円となりました。

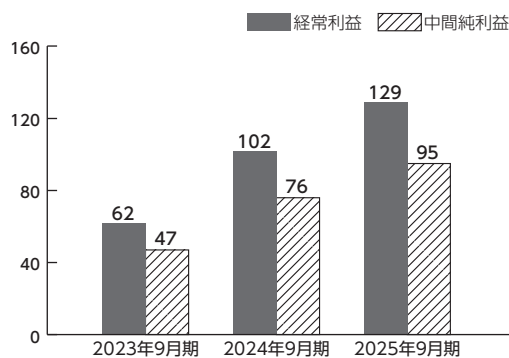
経常利益は、前年同期比27億円増加し129億円となりました。

中間純利益は、95億円となりました。

コア業務純益 (単位：億円)



経常利益・中間純利益 (単位：億円)

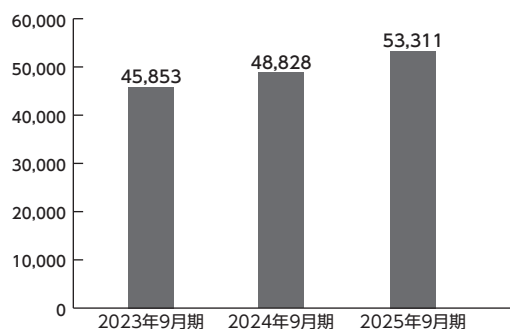


■ 預金 (譲渡性預金含む)・貸出金・有価証券の状況 (単体)

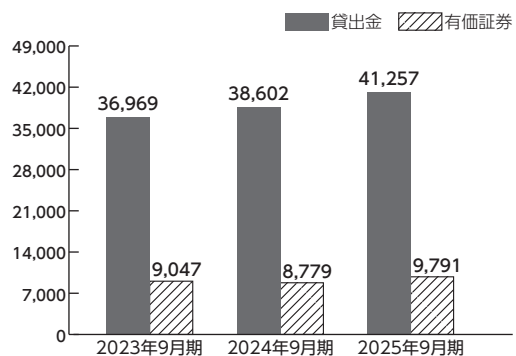
預金 (譲渡性預金含む) は前年同期比4,482億円増加し5兆3,311億円に、貸出金は前年同期比2,655億円増加し4兆1,257億円となりました。

有価証券は前年同期比1,012億円増加し9,791億円となりました。

預金 (譲渡性預金含む) (単位：億円)

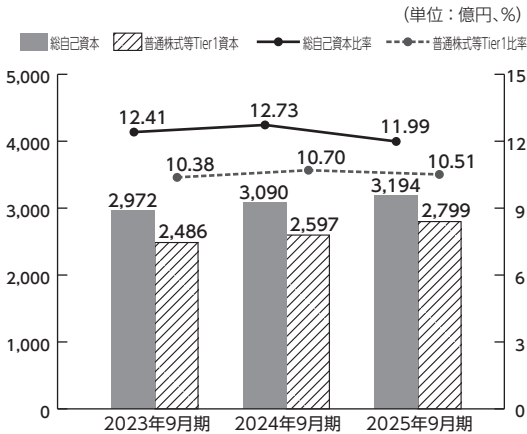


貸出金・有価証券 (単位：億円)



■ 連結総自己資本比率（国際統一基準）

自己資本比率は、銀行の健全性を判断する重要な指標のひとつで、比率が高いほど健全といえます。2025年9月末の連結総自己資本比率は11.99%となっています。また連結普通株式等Tier1比率は10.51%となっています。



■ 格付け

格付けとは、企業の発行する個別の債券について、約定通り元利金が支払われる確実性の程度を、一定の符号によって格付会社が情報として提供しているものです。企業の信用力評価的な要素が強く、広い意味で銀行そのものの信用度を表しています。

当行は、株式会社日本格付研究所（JCR）より長期発行体格付けとして「A（シングルA）」の格付けを取得しています。この格付けは投資適格銘柄であることを示しており、高い評価を受けております。

■ 日本格付研究所（JCR）

名古屋銀行

A

債務履行の確実性は高い。

- AAA
- AA
- A**
- BBB
- BB
- B
- CCC
- CC
- C
- D

■ 債権内容について

名古屋銀行は、創業以来、堅実経営を貫いており、不良債権の発生を最小限にするよう努めてまいりました。今後も、不良債権発生未然防止と処理の促進、融資先の事業再生にも力を注ぎ、資産の健全性維持に努めてまいります。

貸出などの資産につきましては、厳格な自己査定を実

施し、回収の危険性又は価値の毀損の危険性に従って区分し、その区分に応じた適正な不良債権処理ルールに基づいて償却引当を行っています。また、不良債権のオフバランス化や経営改善支援による債務者区分の改善を進めること等によって、資産の健全化に努めています。

■ 銀行法・金融再生法に基づく開示額（単体）

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日	前年同期比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,537	9,234	△303
危険債権	68,141	58,009	△10,131
要管理債権	11,950	12,504	554
三月以上延滞債権	886	992	106
貸出条件緩和債権	11,064	11,512	448
不良債権（小計）	89,629	79,749	△9,880
正常債権	3,833,110	4,112,459	279,348
合計	3,922,740	4,192,209	269,468
不良債権比率	2.28%	1.90%	△0.38%

用語の解説【銀行法基準・金融再生法基準】

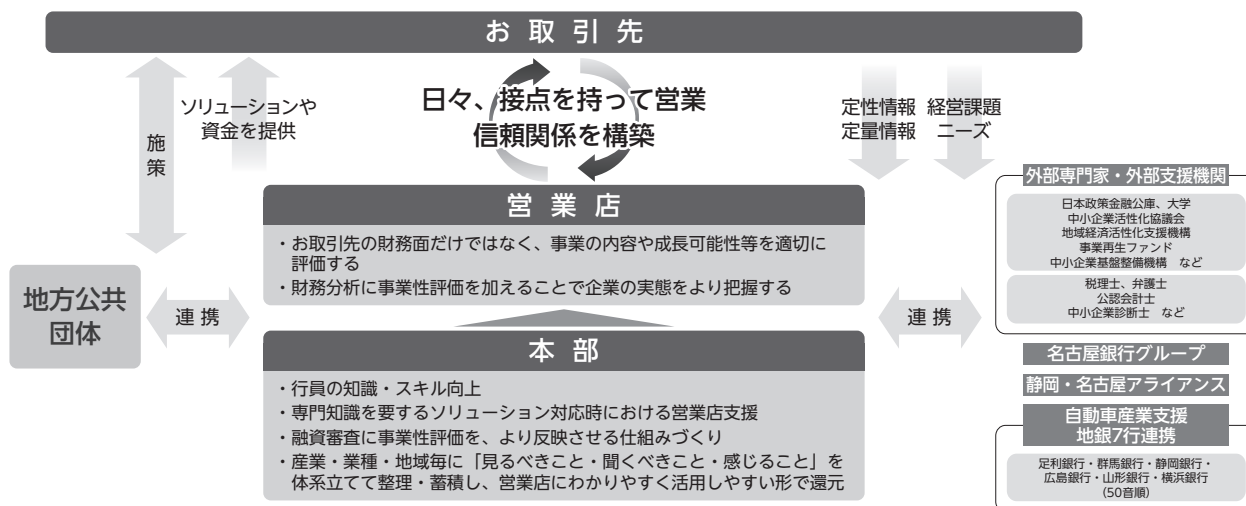
- (1)破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- (2)危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- (3)要管理債権
①三月以上延滞債権
元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で(1)及び(2)に該当しないものです。
②貸出条件緩和債権
債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で(1)、(2)及び(3)①に該当しないものです。
- (4)正常債権
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、(1)から(3)に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

中小企業経営の支援及び地域活性化の取り組み

■ 中小企業経営の支援に関する取組方針

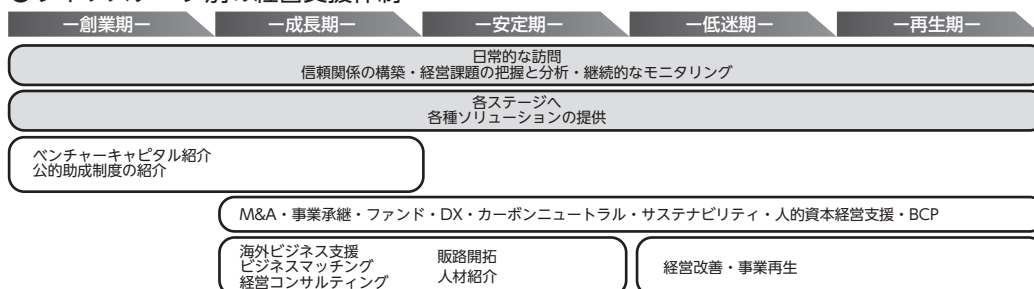
(1)お客さまに対するコンサルティング機能の発揮	① 日常的・継続的な関係強化を通じ、事業性評価（事業内容や成長可能性及び経営の目標や課題の把握・分析）をします。 ② 事業性評価を通じ、最適なソリューションを提案します。 ③ お客さまとともに経営課題の解決に取り組み、必要に応じてソリューションの見直し提案をします。
(2)地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上への積極的な参画	① 地方自治体との連携を図りつつ、一体となり地域の面的再生への取り組みに積極的に参画します。 ② 成長分野の育成や産業集積による高付加価値化をサポートします。
(3)地域やお客さまに対する積極的な情報発信	地域密着型金融の取り組みに関して、具体的な目標やその成果を地域やお客さまに対し積極的に情報発信します。

■ 中小企業経営の支援に関する態勢整備



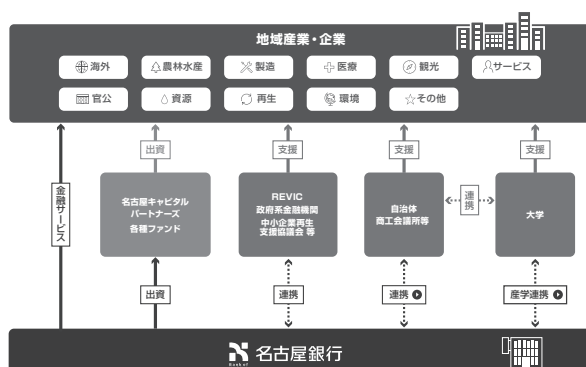
■ 地域密着型金融の具体的な取組状況

●ライフステージ別の経営支援体制



●地域活性化に関する取組状況

○地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上に積極的な参画をするため、各地方公共団体の地方版総合戦略の策定及び推進を支援する体制を拡充しております。



連結情報

連結情報

■ 営業の概況

当行の連結ベースでの経営成績は以下のとおりとなりました。

〔預金・個人預金〕
預金の当中間期末残高は、当中間期中500,115百万円増加し5,290,299百万円となりました。預金の増加のうち、個人預金につきましては、当中間期中6,436百万円の増加となりました。

〔貸出金〕
貸出金の当中間期末残高は、地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とした個人向け融資等、各種資金ニーズに積極的に対応した結果により、当中間期中117,994百万円増加し4,108,324百万円となりました。

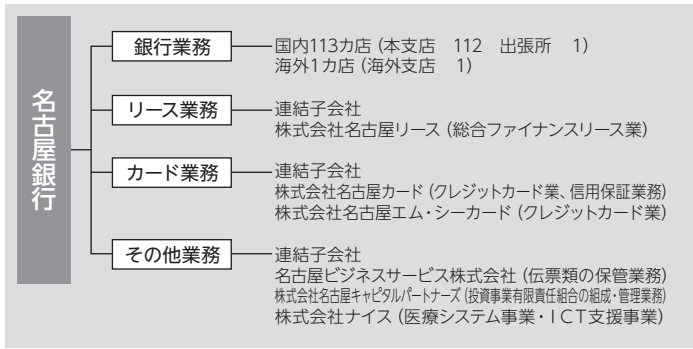
〔損益状況〕
当中間期の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金等が増加したことを主な要因として、前年同期比12,023百万円増加し60,405百万円となりました。
経常費用は、預金利息及び国債等債券売却損が増加したことを主な要因として、前年同期比9,586百万円増加し47,666百万円となりました。
この結果、経常利益は前年同期比2,437百万円増加し12,738百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1,635百万円増加し9,145百万円となりました。
当中間期のセグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

〔銀行業務〕
経常収益は前年同期比11,995百万円増加して47,655百万円、セグメント利益は前年同期比2,699百万円増加して12,929百万円となりました。

〔リース業務〕
経常収益は前年同期比277百万円増加して11,480百万円、セグメント利益は前年同期比102百万円減少して320百万円となりました。

〔カード業務〕
経常収益は前年同期比88百万円減少して1,192百万円、セグメント利益は前年同期比122百万円減少して325百万円となりました。

〔その他業務〕
経常収益は前年同期比30百万円減少して1,422百万円、セグメント損失は20百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。



■ 主要な経営指標等の推移

連結

（単位：百万円）

	2023年度中間期	2024年度中間期	2025年度中間期	2023年度	2024年度
連結経常収益	48,206	48,381	60,405	101,276	102,788
うち連結信託報酬	28	19	34	48	61
連結経常利益	6,291	10,301	12,738	14,513	20,899
親会社株主に帰属する中間純利益	4,501	7,509	9,145	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	10,036	14,730
連結中間包括利益	17,945	△20,873	23,327	—	—
連結包括利益	—	—	—	63,112	△21,243
連結純資産	261,260	278,708	297,425	303,349	276,531
連結総資産	5,273,945	5,636,232	6,101,086	5,431,037	5,770,358
1株当たり純資産額(円)	15,380.63	5,667.17	6,045.53	18,180.15	5,623.12
1株当たり中間純利益(円)	264.38	152.07	185.93	—	—
1株当たり当期純利益(円)	—	—	—	594.13	298.91
潜在株式調整後1株当たり中間純利益(円)	—	—	—	—	—
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	4.95	4.94	4.87	5.58	4.79
連結総自己資本比率(国際統一基準)(%)	12.41	12.73	11.99	13.33	11.74
連結Tier1比率(%) (国際統一基準)	10.38	10.70	10.51	11.36	10.18
連結普通株式等Tier1比率(%) (国際統一基準)	10.38	10.70	10.51	11.36	10.18
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,592	215,144	192,874	84,519	219,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,843	16,610	△16,880	25,048	△49,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,058	△3,820	△2,622	△5,129	△15,627
現金及び現金同等物の中間期末残高	534,977	778,972	878,347	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	—	—	—	551,038	704,976
従業員数(人)	2,007	1,967	1,975	1,940	1,924
〔外、平均臨時従業員数〕	[478]	[481]	[494]	[467]	[486]
信託財産額	1,741	1,621	1,498	1,588	1,478

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 自己資本比率は、(中間)期末純資産の部合計を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。
3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国際統一基準を採用しております。
4. 従業員数は、嘱託及び臨時従業員を含んでおりません。
5. 信託財産額は、「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づく信託業務に係る信託財産額を記載しております。なお、連結会社のうち、該当する信託業務を営む会社は当行1行です。
6. 当行は、2025年9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり中間(当期)純利益を算定しております。

中間連結財務諸表

当行は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人の監査証明を受けており、2025年11月27日付の中間監査報告書を受領しております。

本中間期ディスクロージャー誌の中間連結財務諸表は、上記の中間連結財務諸表に基づき記載内容を一部追加・変更するとともに、様式を一部変更して作成しておりますが、この中間連結財務諸表そのものについては中間監査を受けておりません。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2024年中間期末 (2024年9月30日現在)	2025年中間期末 (2025年9月30日現在)
資産 の 部	現金預け金	784,771	884,357
	コールローン及び買入手形	999	1,339
	商品有価証券	2	3
	有価証券	874,071	975,329
	貸出金	3,846,240	4,108,324
	外国為替	4,042	3,721
	リース債権及びリース投資資産	40,888	43,713
	その他資産	25,839	27,515
	有形固定資産	40,786	41,475
	無形固定資産	1,360	735
	退職給付に係る資産	23,428	21,162
	繰延税金資産	788	845
	支払承諾見返	9,803	10,198
	貸倒引当金	△16,788	△17,636
	資産の部合計	5,636,232	6,101,086
負債 の 部	預金	4,693,973	5,290,299
	譲渡性預金	182,732	33,000
	コールマネー及び売渡手形	—	209
	借用金	368,318	368,675
	外国為替	85	471
	社債	20,000	10,000
	信託勘定借	1,621	1,498
	その他負債	52,588	56,791
	賞与引当金	1,108	1,141
	役員賞与引当金	7	8
	退職給付に係る負債	258	259
	役員退職慰労引当金	30	31
	睡眠預金払戻損失引当金	81	26
	偶発損失引当金	1,516	1,325
	利息返還損失引当金	25	24
	繰延税金負債	22,607	26,915
	再評価に係る繰延税金負債	2,766	2,783
	支払承諾	9,803	10,198
	負債の部合計	5,357,524	5,803,660
純 資 産 の 部	資本金	25,090	25,090
	資本剰余金	21,241	21,249
	利益剰余金	168,069	180,147
	自己株式	△425	△385
	株主資本合計	213,976	226,101
	その他有価証券評価差額金	53,025	62,622
	土地再評価差額金	3,867	3,647
	退職給付に係る調整累計額	7,839	5,053
	その他の包括利益累計額合計	64,731	71,323
	純資産の部合計	278,708	297,425
負債及び純資産の部合計		5,636,232	6,101,086

中間連結損益計算書 (単位：百万円)

	2024年度中間期 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	2025年度中間期 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
経常収益	48,381	60,405
資金運用収益	23,549	33,302
(うち貸出金利息)	15,235	21,268
(うち有価証券利息配当金)	7,610	9,862
信託報酬	19	34
役務取引等収益	6,460	7,304
その他業務収益	13,679	13,989
その他経常収益	4,671	5,773
経常費用	38,080	47,666
資金調達費用	4,021	9,388
(うち預金利息)	1,067	6,644
役務取引等費用	2,044	2,275
その他業務費用	15,872	17,892
営業経費	15,138	16,451
その他経常費用	1,002	1,658
経常利益	10,301	12,738
特別利益	2	342
固定資産処分益	2	342
特別損失	126	36
固定資産処分損	126	36
税金等調整前中間純利益	10,176	13,044
法人税、住民税及び事業税	1,954	3,743
法人税等調整額	712	155
法人税等合計	2,666	3,899
中間純利益	7,509	9,145
親会社株主に帰属する中間純利益	7,509	9,145

中間連結包括利益計算書 (単位：百万円)

	2024年度中間期 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	2025年度中間期 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	7,509	9,145
その他の包括利益	△28,383	14,182
その他有価証券評価差額金	△27,827	14,663
土地再評価差額金	—	△138
退職給付に係る調整額	△556	△342
中間包括利益	△20,873	23,327
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△20,873	23,327

中間連結株主資本等変動計算書

2024年度中間期（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	25,090	21,241	164,268	△367	210,234
当 中 間 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△1,668		△1,668
親会社株主に帰属する中間純利益			7,509		7,509
自 己 株 式 の 取 得				△2,156	△2,156
自 己 株 式 の 処 分		4		53	57
自 己 株 式 の 消 却		△2,045		2,045	—
土 地 再 評 価 差 額 金 の 取 崩					
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替		2,041	△2,041		—
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—	—	3,800	△58	3,742
当 中 間 期 末 残 高	25,090	21,241	168,069	△425	213,976

	その他の包括利益累計額				純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	80,852	3,867	8,395	93,115	303,349
当 中 間 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当					△1,668
親会社株主に帰属する中間純利益					7,509
自 己 株 式 の 取 得					△2,156
自 己 株 式 の 処 分					57
自 己 株 式 の 消 却					—
土 地 再 評 価 差 額 金 の 取 崩					
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替					—
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△27,827	—	△556	△28,383	△28,383
当 中 間 期 変 動 額 合 計	△27,827	—	△556	△28,383	△24,641
当 中 間 期 末 残 高	53,025	3,867	7,839	64,731	278,708

2025年度中間期（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	25,090	21,241	173,486	△429	219,389
当 中 間 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△2,622		△2,622
親会社株主に帰属する中間純利益			9,145		9,145
自 己 株 式 の 取 得				△7	△7
自 己 株 式 の 処 分		7		51	59
自 己 株 式 の 消 却					
土 地 再 評 価 差 額 金 の 取 崩			138		138
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替					
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—	7	6,660	43	6,712
当 中 間 期 末 残 高	25,090	21,249	180,147	△385	226,101

	その他の包括利益累計額				純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	47,959	3,785	5,396	57,141	276,531
当 中 間 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当					△2,622
親会社株主に帰属する中間純利益					9,145
自 己 株 式 の 取 得					△7
自 己 株 式 の 処 分					59
自 己 株 式 の 消 却					
土 地 再 評 価 差 額 金 の 取 崩					138
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替					
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	14,663	△138	△342	14,182	14,182
当 中 間 期 変 動 額 合 計	14,663	△138	△342	14,182	20,894
当 中 間 期 末 残 高	62,622	3,647	5,053	71,323	297,425

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度中間期 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	2025年度中間期 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,176	13,044
減価償却費	1,341	1,233
株式報酬費用	23	29
貸倒引当金の増減(△)	△451	383
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	△7
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△288	△151
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6	△4
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	43	△23
偶発損失引当金の増減(△)	△42	16
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
資金運用収益	△23,549	△33,302
資金調達費用	4,021	9,388
有価証券関係損益(△)	86	646
為替差損益(△は益)	5,504	266
固定資産処分損益(△は益)	124	△306
商品有価証券の純増(△)減	△2	△1
貸出金の純増(△)減	△65,382	△117,994
預金の純増減(△)	180,841	500,115
譲渡性預金の純増減(△)	59,392	△202,996
借用金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△2,245	974
預け金(預入期間三ヶ月超)の純増(△)減	440	195
コールローン等の純増(△)減	60	△143
コールマネー等の純増減(△)	△426	209
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	△17,363	—
外国為替(資産)の純増(△)減	297	752
外国為替(負債)の純増減(△)	25	△209
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△1,733	△1,666
信託勘定借の純増減(△)	32	19
資金運用による収入	22,803	30,591
資金調達による支出	△3,893	△7,618
その他	49,791	1,691
小計	219,566	195,133
法人税等の支払額	△4,422	△2,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	215,144	192,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△142,984	△146,006
有価証券の売却による収入	104,734	86,337
有価証券の償還による収入	55,170	43,127
有形固定資産の取得による支出	△369	△967
無形固定資産の取得による支出	△43	△143
有形固定資産の売却による収入	102	771
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,610	△16,880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,663	△2,614
自己株式の取得による支出	△2,156	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,820	△2,622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	227,934	173,370
現金及び現金同等物の期首残高	551,038	704,976
現金及び現金同等物の中間期末残高	778,972	878,347

セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当行グループは、銀行業務を中心に、総合ファイナンスリース業、カード業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

したがって、当行グループは、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業務」、「リース業務」及び「カード業務」の3つを報告セグメントとしております。

「銀行業務」は、当行の本店ほか支店等において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、外国為替業務、有価証券投資業務、商品有価証券売買業務、社債受託及び登録業務等を行い、お客さまの多様なニーズに、より一層応えていくため、経営資源の合理化・効率化の実現に取り組んでおります。「リース業務」は、国内子会社の株式会社名古屋リースにおいて、総合ファイナンスリース業を行っております。また「カード業務」は、国内子会社の株式会社名古屋カード及び株式会社名古屋エム・シーカードにおいて、クレジットカード業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	2024年度中間期（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）					
	報告セグメント				その他	合 計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
信託報酬等収益	19	—	—	19	—	19
役務取引・貸出業務	2,909	—	—	2,909	—	2,909
為替替業	1,293	—	—	1,293	—	1,293
証券関連業務	1,106	—	—	1,106	—	1,106
代理業	621	—	—	621	—	621
その他の業務収益	615	—	—	615	—	615
カード関係業務	—	—	1,001	1,001	—	1,001
その他の関係業務	—	939	—	939	1,380	2,319
顧客との契約から生じる経常収益	6,565	939	1,001	8,506	1,380	9,887
上記以外の経常収益	28,173	10,158	167	38,499	34	38,533
外部顧客に対する経常収益	34,739	11,097	1,169	47,006	1,414	48,420
セグメント間の内部経常収益	921	105	111	1,137	38	1,176
計	35,660	11,202	1,280	48,143	1,453	49,597
セグメント利益又は損失（△）	10,229	423	448	11,101	△29	11,071
セグメント資産	5,587,913	58,505	17,025	5,663,443	2,732	5,666,176
セグメント負債	5,326,433	50,444	13,185	5,390,062	1,159	5,391,222
その他の項目						
減価償却費	1,060	223	4	1,289	51	1,341
資金運用収益	24,338	1	21	24,362	0	24,362
資金調達費用	3,977	90	1	4,069	0	4,069
貸倒引当金繰入額	—	46	—	46	—	46
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	103	62	1	166	—	166

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療システム事業、ICT支援事業等を含んでおります。
3. 減価償却費には、システム関連投資にかかるその他償却額を含んでおります。

(単位：百万円)

	2025年度中間期（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）					
	報告セグメント				その他	合 計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
信託報酬等収益	34	—	—	34	—	34
預金・貸出業務	3,188	—	—	3,188	—	3,188
為替関連業務	1,353	—	—	1,353	—	1,353
証券関連業務	1,245	—	—	1,245	—	1,245
代理業務	714	—	—	714	—	714
その他の業務収益	920	—	—	920	—	920
カード関係業務	—	—	1,034	1,034	—	1,034
その他の関係業務	—	940	—	940	1,375	2,315
顧客との契約から生じる経常収益	7,457	940	1,034	9,432	1,375	10,807
上記以外の経常収益	39,122	10,434	49	49,605	23	49,629
外部顧客に対する経常収益	46,579	11,374	1,084	59,038	1,398	60,436
セグメント間の内部経常収益	1,076	106	108	1,290	24	1,314
計	47,655	11,480	1,192	60,328	1,422	61,751
セグメント利益又は損失（△）	12,929	320	325	13,575	△20	13,555
セグメント資産	6,055,769	65,381	17,669	6,138,820	2,779	6,141,599
セグメント負債	5,772,950	57,109	13,987	5,844,047	1,096	5,845,143
その他の項目						
減価償却費	948	228	7	1,184	48	1,233
資金運用収益	34,215	2	18	34,236	1	34,238
資金調達費用	9,328	178	4	9,511	0	9,511
貸倒引当金繰入額	887	—	—	887	18	906
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	931	124	42	1,098	13	1,112

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療システム事業、ICT支援事業等を含んでおります。
3. 減価償却費には、システム関連投資にかかるその他償却額を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と中間連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	2024年度中間期	2025年度中間期
報告セグメント計	48,143	60,328
「その他」の区分の経常収益	1,453	1,422
セグメント間取引消去	△1,176	△1,314
貸倒引当金戻入益	△39	△31
中間連結損益計算書の経常収益	48,381	60,405

(注) 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と中間連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利 益	2024年度中間期	2025年度中間期
報告セグメント計	11,101	13,575
「その他」の区分の利益	△29	△20
セグメント間取引消去	△770	△817
中間連結損益計算書の経常利益	10,301	12,738

(3) 報告セグメントの資産の合計額と中間連結貸借対照表の資産計上額

(単位：百万円)

資 産	2024年度中間期	2025年度中間期
報告セグメント計	5,663,443	6,138,820
「その他」の区分の資産	2,732	2,779
セグメント間取引消去	△38,790	△45,953
退職給付に係る資産の調整額	8,846	5,440
中間連結貸借対照表の資産合計	5,636,232	6,101,086

(4) 報告セグメントの負債の合計額と中間連結貸借対照表の負債計上額

(単位：百万円)

負 債	2024年度中間期	2025年度中間期
報告セグメント計	5,390,062	5,844,047
「その他」の区分の負債	1,159	1,096
セグメント間取引消去	△34,705	△41,869
退職給付に係る負債の調整額	1,007	386
中間連結貸借対照表の負債合計	5,357,524	5,803,660

(5) 報告セグメントのその他の項目の合計額と当該項目に相当する科目の中間連結財務諸表計上額

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		中間連結財務諸表計上額	
	2024年度中間期	2025年度中間期	2024年度中間期	2025年度中間期	2024年度中間期	2025年度中間期	2024年度中間期	2025年度中間期
減価償却費	1,289	1,184	51	48	—	—	1,341	1,233
資金運用収益	24,362	34,236	0	1	△812	△936	23,549	33,302
資金調達費用	4,069	9,511	0	0	△48	△123	4,021	9,388
貸倒引当金繰入額	46	887	—	18	△39	△31	6	874
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	166	1,098	—	13	—	—	166	1,112

(注) 資金運用収益の調整額及び資金調達費用の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

【関連情報】

2024年度中間期（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. サービスごとの情報

（単位：百万円）

	2024年度中間期（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）				
	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合 計
外 部 顧 客 に 対 す る 経 常 収 益	15,274	12,078	11,097	9,970	48,420

（注）一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

2025年度中間期（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. サービスごとの情報

（単位：百万円）

	2025年度中間期（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）				
	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合 計
外 部 顧 客 に 対 す る 経 常 収 益	21,292	15,470	11,374	12,299	60,436

（注）一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

注記事項（2025年度中間期）

（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社 6社
- 名古屋ビジネスサービス株式会社
株式会社名古屋リース
株式会社名古屋カード
株式会社名古屋エム・シーカード
株式会社名古屋キャピタルパートナーズ
株式会社ナイス
- (2) 非連結子会社 5社
- めいぎん経営承継投資事業有限責任組合
めいぎんベンチャー1号投資事業有限責任組合
めいぎん事業再生1号投資事業有限責任組合
めいぎん地域活性化1号投資事業有限責任組合
めいぎんベンチャー2号投資事業有限責任組合
- 非連結子会社は、その資産、経常収益、中間純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。
- (3) 他の会社等の議決権の過半数を自己の計算において所有しているにもかかわらず子会社としなかった当該他の会社等の名称 16社
- T Y ホールディングス株式会社
株式会社トーヨー
F A パートナー株式会社
A I H O L D I N G S 株式会社
株式会社愛豊精機製作所
N S ホールディングス株式会社
三河鋼産株式会社
小島機鋼株式会社
株式会社中央情報システムズ
C N ホールディングス株式会社
株式会社 N S K
N S K ホールディングス株式会社
株式会社セイコン
E l e c t r i c G r o u p 株式会社
株式会社光電工
E l e c t r i c G r o u p 2 株式会社
- 投資事業等を営む非連結子会社が、投資育成目的のため出資したものであり、傘下に入れる目的ではないことから、子会社として取扱っておりません。

2. 持分法の適用に関する事項

- (1) 持分法適用の非連結子会社 ー社
- (2) 持分法適用の関連会社 ー社
- (3) 持分法非適用の非連結子会社 5社
- めいぎん経営承継投資事業有限責任組合
めいぎんベンチャー1号投資事業有限責任組合
めいぎん事業再生1号投資事業有限責任組合
めいぎん地域活性化1号投資事業有限責任組合
めいぎんベンチャー2号投資事業有限責任組合
- (4) 持分法非適用の関連会社 1社
- 静岡・名古屋アライアンス投資事業有限責任組合
- 持分法非適用の非連結子会社及び関連会社は、中間純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても中間連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除いております。

3. 連結子会社の中間決算日に関する事項

連結子会社の中間決算日は次のとおりであります。

9月末日 6社

4. 開示対象特別目的会社に関する事項

該当事項はありません。

5. 会計方針に関する事項

- (1) 商品有価証券の評価基準及び評価方法
- 商品有価証券の評価は、時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）により行っております。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
- 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、持分法非適用の非連結子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券については時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし市場価格のない株式等については移動平均法による原価法により行っております。
- なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
- (3) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法
- デリバティブ取引の評価は、時価法により行っております。
- (4) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産
- 当行の有形固定資産は、定率法（ただし、1998年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。
- また、主な耐用年数は次のとおりであります。
- 建 物：15年～50年
- その他：4年～20年
- 連結子会社の有形固定資産については、資産の見積耐用年数に基づき、主として定額法により償却しております。
- ② 無形固定資産
- 無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、当行及び連結子会社で定める利用可能期間（主として5年）に基づいて償却しております。
- (5) 貸倒引当金の計上基準
- 当行の貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。
- 「銀行等金融機関の資産の自己査定並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針」（日本公認会計士協会銀行等監査特別委員会報告第4号 2022年4月14日）に規定する各債務者区分の債権については、以下のとおりです。正常先債権及び要注意先債権に相当する債権については、主として今後1年間の予想損失額又は今後3年間の予想損失額を見込んで計上しており、予想損失額は、1年間の倒産実績を基礎とした倒産確率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求め、これに将来見込み等必要な修正を加えて算定しております。
- 破綻懸念先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち必要と認める額を計上しております。
- 破綻先債権及び実質破綻先債権に相当する債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額を計上しております。
- すべての債権は、自己査定基準に基づき、営業関連部署が一次・二次の資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しております。
- 連結子会社の貸倒引当金は、一般債権については過去の貸倒実績率等を勘案して必要と認めた額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額をそれぞれ計上しております。
- (6) 賞与引当金の計上基準
- 賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間連結会計期間に帰属する額を計上しております。
- (7) 役員賞与引当金の計上基準
- 役員賞与引当金は、役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間連結会計期間に帰属する額を計上しております。
- (8) 役員退職慰労引当金の計上基準
- 連結子会社の役員退職慰労引当金は、役員への退職慰労金の支払いに備えるため、役員退職慰労金の内規に基づく当中間連結会計期間末支給見込額を計上しております。
- (9) 睡眠預金払戻損失引当金の計上基準
- 睡眠預金払戻損失引当金は、利益計上した睡眠預金について預金者からの払戻請求に基づく払戻損失に備えるため、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を計上しております。

(10) 偶発損失引当金の計上基準

偶発損失引当金は、貸出金等に係る信用保証協会の保証についての責任共有制度による将来の負担金支払に備えるため、過去の貸倒実績等を勘案して必要と認められる額を計上しております。

(11) 利息返還損失引当金の計上基準

利息返還損失引当金は、連結子会社が利息制限法の上限金利を超過する貸付金利息の返還請求に備えるため、過去の返還状況等を勘案し、返還見込額を合理的に見積計上しております。

(12) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間連結会計期間末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。また、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過 去 勤 務 費 用：その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（12年）による定額法により損益処理
数理計算上の差異：各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（12年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生時の翌連結会計年度から損益処理

なお、連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る当中間連結会計期間末の自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(13) 重要な収益及び費用の計上基準

①ファイナンス・リース取引に係る収益及び費用の計上基準

リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

②顧客との取引に係る収益の計上方法

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

当行及び連結子会社は、次の5つのステップを適用し顧客との取引に関する収益を認識しております。

- ステップ1：顧客との契約を識別する。
- ステップ2：契約における履行義務を識別する。
- ステップ3：取引価格を算定する。
- ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。
- ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

当行及び連結子会社の顧客との取引に関する収益は、主として約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で認識される取引サービスに係るものであり、為替業務等に係る手数料、資金取引等に係る手数料、証券業務等に係る手数料、代理業務等に係る手数料、その他銀行サービスの提供等に係る手数料等が含まれております。

(14) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

当行の外貨建資産・負債及び海外支店勘定は、中間連結決算日の為替相場による円換算額を付しております。

連結子会社の外貨建資産・負債については、それぞれの中間決算日等の為替相場により換算しております。

(15) 重要なヘッジ会計の方法

為替変動リスク・ヘッジ

当行の外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第25号 2020年10月8日）に規定する繰延ヘッジによっております。
ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

(16) 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、中間連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び取得日から満期日までの期間が3ヵ月以内の預け金であります。

(中間連結貸借対照表関係)

1. 非連結子会社及び関連会社の株式又は出資金の総額

株 式	－百万円
出資金	3,196百万円

2. 銀行法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権は次のとおりであります。なお、債権は、中間連結貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに支払承諾見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は質貸借契約によるものに限る。）であります。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	9,272百万円
危険債権額	58,138百万円
要管理債権額	13,273百万円
三月以上延滞債権額	992百万円
貸出条件緩和債権額	12,280百万円
小計額	80,684百万円
正常債権額	4,094,050百万円
合計額	4,174,734百万円

破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権であります。

危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で破産更生債権及びこれらに準ずる債権に該当しないものであります。

三月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権に該当しないものであります。

貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに三月以上延滞債権に該当しないものであります。

正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、三月以上延滞債権並びに貸出条件緩和債権以外のものに区分される債権であります。

なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

3. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第24号 2022年3月17日。以下、「業種別委員会実務指針第24号」という。）に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及び買入外国為替等は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

	10,186百万円
--	-----------

4. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産	
有価証券	74,600百万円
貸出金	471,957百万円
その他資産	8百万円
計	546,566百万円

担保資産に対応する債務

預金	27,480百万円
借入金	330,000百万円

なお、上記有価証券のうち預金及び手形交換等の取引の共通担保として、次のものを差し入れております。

有価証券	74,600百万円
------	-----------

上記のほか、内国為替決済等の取引の担保として、次のものを差し入れております。

有価証券	24,221百万円
------	-----------

また、その他資産には、金融商品等差入担保金及び保証金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

金融商品等差入担保金	1,747百万円
保証金	604百万円

5. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

融資未実行残高	743,662百万円
うち原契約期間が1年以内のもの	720,806百万円
(又は任意の時期に無条件で取消可能なもの)	

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当行及び連結子会社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当行及び連結子会社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている行内（社内）手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

6. 土地の再評価に関する法律（1998年3月31日公布法律第34号）に基づき、当行の事業用の土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価を行った年月日	1998年3月31日
同法律第3条第3項に定める再評価の方法	

土地の再評価に関する法律施行令（1998年3月31日公布政令第119号）第2条第3号に定める土地課税台帳に登録されている価格（固定資産税評価額）に合理的な調整を行って算出。

同法律第10条に定める再評価を行った事業用の土地の中間連結会計期間末における時価の合計額と当該事業用の土地の再評価後の帳簿価額の合計額との差額

	2,416百万円
7. 有形固定資産の減価償却累計額	
減価償却累計額	35,199百万円
8. 有形固定資産の圧縮記帳額	
圧縮記帳額	2,888百万円
（当中間連結会計期間の圧縮記帳額）	（一百万円）
9. 借入金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。	
劣後特約付借入金	20,000百万円
10. 社債には、実質破綻時免除特約付劣後社債が含まれております。	
実質破綻時免除特約付劣後社債	10,000百万円
11. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額	53,814百万円
12. 元本補填契約のある信託の元本金額は、次のとおりであります。	
金銭信託	1,498百万円

(中間連結損益計算書関係)

1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。	
株式等売却益	5,538百万円
償却債権取立益	0百万円
2. 「営業経費」には次のものを含んでおります。	
給料・手当（賞与等を含む）	7,893百万円
退職給付費用	△79百万円
3. その他経常費用には、次のものを含んでおります。	
貸倒引当金繰入額	874百万円
貸出金償却	0百万円
株式等売却損	13百万円
偶発損失引当金繰入額	16百万円

(中間連結株主資本等変動計算書関係)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数（千株）	当中間連結会計期間 増加株式数（千株）	当中間連結会計期間 減少株式数（千株）	当中間連結会計期間 末株式数（千株）	摘要
発行済株式					
普通株式	16,455	—	—	16,455	
合計	16,455	—	—	16,455	
自己株式					
普通株式	62	0	7	56	(注)
合計	62	0	7	56	

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加は、単元未満株式の買取りによる0千株の増加であります。普通株式の自己株式の株式数の減少は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分7千株の減少であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 当中間連結会計期間中の配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基 準 日	効力発生日
2025年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,622	160.00	2025年3月31日	2025年6月30日

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基 準 日	効力発生日
2025年11月14日 取締役会	普通株式	2,459	その他 利益剰余金	150.00	2025年9月30日	2025年12月11日

(注) 当行は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金預け金勘定	884,357百万円
預入期間が3カ月を超える預け金勘定	△6,010百万円
現金及び現金同等物	878,347百万円

(リース取引関係)

借主側

1. ファイナンス・リース取引

該当事項はありません。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料
(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
1年以内	251
1年超	141
合計	393

貸主側

1. ファイナンス・リース取引

(1) リース投資資産の内訳

	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
リース料債権部分	39,586
見積残存価額部分	7,079
受取利息相当額	△3,866
リース投資資産	42,798

(2) リース債権及びリース投資資産に係るリース料債権部分の連結決算日後の回収予定額

	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)					
	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース債権	301	219	166	110	80	75
リース投資資産	12,091	9,869	7,699	5,239	2,784	1,902

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
1年内	339
1年超	201
合計	540

(金融商品関係)

1. 金融商品の時価等に関する事項

中間連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。
なお、市場価格のない株式等及び組合出資金は、次表には含めておりません（（注1）参照）。また、現金は注記を省略しており、預け金、コールローン、コールマネーは、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

また、重要性の乏しい科目については記載を省略しております。

(単位：百万円)

	中間連結 貸借対照表 計上額	時 価	差 額
(1) 有価証券 満期保有目的の債券 その他有価証券（※1）	120,000 814,793	114,341 814,793	△5,658 —
(2) 貸出金 貸倒引当金（※2）	4,108,324 △16,649		
	4,091,674	4,056,198	△35,476
資産計	5,026,468	4,985,333	△41,135
(1) 預金	5,290,299	5,292,002	1,703
(2) 譲渡性預金	33,000	33,005	5
(3) 借入金	368,675	368,582	△92
(4) 社債	10,000	9,823	△176
負債計	5,701,974	5,703,414	1,439
デリバティブ取引（※3） ヘッジ会計が適用されていないもの ヘッジ会計が適用されているもの	(2,189) —	(2,189) —	— —
デリバティブ取引計	(2,189)	(2,189)	—

（※1）その他有価証券には、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）第24-9項の基準価額を時価とみなす取扱いを適用した投資信託が含まれております。

（※2）貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。

（※3）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（ ）で表示しております。

（注1）市場価格のない株式等及び組合出資金の中間連結貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価情報の「その他有価証券」には含めておりません。

(単位：百万円)

区 分	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
非上場株式（※1）（※2）	1,908
組合出資金（※3）（※4）	38,627

（※1）非上場株式については、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）第5項に基づき、時価開示の対象とはしていません。

（※2）当中間連結会計期間において、非上場株式については減損処理を行っておりません。

（※3）組合出資金については、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）第24-16項に基づき、時価開示の対象とはしていません。

（※4）当中間連結会計期間において、組合出資金について46百万円減損処理を行っております。

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産または負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で中間連結貸借対照表に計上している金融商品

(単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券（※1） その他有価証券 国債・地方債等 社債 株式 その他 デリバティブ取引 通貨関連 その他	214,882 — 129,797 27,141 — —	100,338 136,048 — 131,175 — 37	— 53,106 — — 18 —	315,220 189,154 129,797 158,317 37 18
資産計	371,821	367,599	53,124	792,545
デリバティブ取引 通貨関連 その他	— — —	2,226 — —	— 18 —	2,226 18 —
負債計	—	2,226	—	2,244

（※1）有価証券には、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）第24-9項の基準価額を時価とみなす取扱いを適用した投資信託は含まれておりません。第24-9項の取扱いを適用した投資信託の中間連結貸借対照表計上額は22,303百万円であります。

①第24-9項の取扱いを適用した投資信託の期首残高から期末残高への調整表

(単位：百万円)

期首残高	当期の損益又はその他の包括利益		購入、売却及び償還の純額
	損益に計上	その他の包括利益に計上（※1）	
21,499	—	304	498
投資信託の基準価額を時価とみなすこととした額	投資信託の基準価額を時価とみなさないこととした額	期末残高	当期の損益に計上した額のうち中間連結貸借対照表日において保有する投資信託の評価損益
—	—	22,303	—

（※1）中間連結包括利益計算書の「その他の包括利益」の「その他有価証券評価差額金」に含まれております。

②第24-9項の取扱いを適用した中間連結決算日における解約又は買戻請求に関する制限の内容ごとの内訳

(単位：百万円)

解約又は買戻請求に関する制限の主な内容	中間連結貸借対照表計上額
解約申込から解約約定までに数か月を要するもの	22,303

(2) 時価で中間連結貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券 満期保有目的の債券 その他 貸出金	— — —	114,341 — —	— 4,056,198 —	114,341 4,056,198 —
資産計	—	114,341	4,056,198	4,170,539
預金	—	5,292,002	—	5,292,002
譲渡性預金	—	33,005	—	33,005
借入金	—	350,074	18,508	368,582
社債	—	9,823	—	9,823
負債計	—	5,684,905	18,508	5,703,414

（注1）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

資 産

有価証券

有価証券については、活発な市場における無調整の相場価格を利用できるものはレベル1の時価に分類しております。主に国債や上場株式がこれに含まれます。公表された相場価格を用いていたとしても市場が活発でない場合にはレベル2の時価に分類しております。また、市場における取引価格が存在しない投資信託について、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がない場合には基準価額を時価とし、レベル2の時価に分類しております。

私募債については、見積将来キャッシュ・フローをリスクフリーレートに信用スプレッド等を加算した金利で割り引いて時価を算出しており、レベル3の時価に分類しております。

その他の公表された相場価格のない一部の有価証券については、外部業者（ブローカー等）により入手した相場価格を時価としており、それらに使用されたインプットに基づきレベル2又はレベル3の時価に分類しております。

貸出金

貸出金については、見積将来キャッシュ・フローを、リスクフリーレートに信用スプレッド等を加算した金利で割り引いて時価を算出しているほか、貸出の種類によっては新規貸出を行った場合に想定される金利で割り引いて時価を算出する場合やオプション価格計算モデル等により算出した価額を考慮して時価とする場合もあり、レベル3の時価に分類しております。

また、破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、中間連結決算日における中間連結貸借対照表上の債権等計上額から個別貸倒引当金を控除した金額に近似していることから、当該価額を時価としており、レベル3の時価に分類しております。

負債

預金、及び譲渡性預金

要求払預金については、中間連結決算日の帳簿価額を時価とみなしております。また、定期性預金及び譲渡性預金の時価は、一定の期間ごとに区分して、将来のキャッシュ・フローを新規に当該同種預金を残存期間まで受け入れる際に用いるレートで割り引いて現在価値を算出していることからレベル2の時価に分類しております。

デリバティブ取引

デリバティブ取引は店頭取引であり、公表された相場価格が存在しないため、取引の種類や満期までの期間に応じて現在価値技法にて時価を算定しております。評価技法で用いている主なインプットは、金利や為替レートであります。また、観察できないインプットを用いていない又はその影響が重要でない場合はレベル2の時価に分類しており、為替予約取引等が含まれます。重要な観察できないインプットを用いている場合はレベル3の時価に分類しております。

(注2) 時価で中間連結貸借対照表に計上している金融商品のうちレベル3の時価に関する情報

(1) 重要な観察できないインプットに関する定量的情報

区分	評価技法	重要な観察できないインプット	インプットの範囲	インプットの加重平均
有価証券				
その他有価証券				
私募債	現在価値技法	割引率	0.00%～15.22%	0.10%

(2) 期首残高から期末残高への調整表、当期の損益に認識した評価損益

(単位：百万円)

	期首残高	当期の損益又はその他の包括利益		購入、売却、発行及び決済の純額	レベル3の時価への振替	レベル3の時価からの振替	期末残高	当期の損益に計上した額のうち中間連結貸借対照表日において保有する金融資産及び金融負債の評価損益（※1）
		損益に計上（※1）	その他の包括利益に計上（※2）					
有価証券								
その他有価証券	52,908	△18	△46	262	—	—	53,106	—
デリバティブ取引								
その他（※3）	—	—	—	—	—	—	—	—

（※1）中間連結損益計算書の「その他業務収益」及び「その他業務費用」等に含まれております。

（※2）中間連結包括利益計算書の「その他の包括利益」の「その他有価証券評価差額金」に含まれております。

（※3）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務及び利益・損失は純額で表示しており、正味の債務・損失となる項目については、△で示しております。

(3) 時価の評価プロセスの説明

当行はミドル部門において時価の算定に関する方針及び手続を定めており、これに沿って各取引部門が時価を算定しております。算定された時価及びレベルの分類については、独立した評価部門において、時価の算定に用いられた評価技法及びインプットの妥当性並びに時価のレベルの分類の適切性を検証しております。

(4) 重要な観察できないインプットを変化させた場合の時価に対する影響に関する説明

割引率は、リスクフリーレート等の市場金利に対する調整率であり、主に信用リスクから生じる金融商品のキャッシュ・フローの不確実性に対し市場参加者が必要とする報酬額であるリスク・プレミアムから構成されます。一般的に、割引率の著しい上昇（低下）は、時価の著しい下落（上昇）を生じさせます。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「セグメント情報等」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額及び算定上の基礎

1株当たり純資産額	6,045.53銭
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額	297,425百万円
純資産の部の合計額から控除する金額	一百万円
普通株式に係る中間期末の純資産額	297,425百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末の普通株式の数	49,197千株

(注) 当行は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり純資産額につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

借入金

借入金の時価は、主に一定の期間ごとに区分した当該借入金の元利金の将来キャッシュ・フローを同様の借入において想定される利率で割り引いて算出しています。

なお、当該時価の算定に重要な観察できないインプットを用いている場合はレベル3の時価、そうでない場合はレベル2の時価に分類しております。

社債

当行の発行する社債は市場価格のあるものとしてレベル2の時価に分類しております。

2. 1株当たり中間純利益及び算定上の基礎

1株当たり中間純利益	185.93銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する中間純利益	9,145百万円
普通株主に帰属しない金額	一百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益	9,145百万円
普通株式の期中平均株式数	49,185千株

(注) 1. 当行は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり中間純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当行は、2025年4月22日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月1日付で「株式分割」及び株式分割に伴う「定款の一部変更」を行いました。

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

株式分割を行うことにより、当行株式の投資単位当たりの金額（最低投資金額）を引き下げ、当行株式に投資しやすい環境を整えることで、当行株式の流動性を高め、投資家層の更なる拡大を図ることを目的とするものです。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2025年9月30日（火曜日）最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式1株につき、3株の割合をもって分割いたしました。

なお、今回の株式分割に際しまして、資本金の額の変更はありません。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数	16,455,487株
今回の分割により増加する株式数	32,910,974株
株式分割後の発行済株式総数	49,366,461株
株式分割後の発行可能株式総数	150,000,000株

③分割の日程

基準日公告日	2025年9月12日（金曜日）
基準日	2025年9月30日（火曜日）
効力発生日	2025年10月1日（水曜日）

④1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりであります。

	前連結会計期間 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
1株当たり純資産額	5,623円12銭	6,045円53銭
	前中間連結会計期間 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	当中間連結会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日
1株当たり中間純利益	152円07銭	185円93銭
潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株式分割に伴う定款の一部変更について

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日（水曜日）をもって、当行定款第5条の発行可能株式総数を分割比率に合わせて変更いたしました。

(2) 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更箇所を示します)

変更前定款	変更後定款
第5条（発行可能株式総数） 当銀行の発行可能株式総数は、 <u>5千</u> 万株とする。	第5条（発行可能株式総数） 当銀行の発行可能株式総数は、 <u>1億</u> 5千万株とする。

連結リスク管理債権および金融再生法開示債権

(単位：百万円)

		2024年9月30日	2025年9月30日
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		9,693	9,272
危険債権		68,354	58,138
要管理債権	三月以上延滞債権	886	992
	貸出条件緩和債権	11,836	12,280
合計		90,770	80,684
正常債権		3,817,978	4,094,050

連結リスク管理債権および金融再生法開示債権

単体情報

■ 主要な経営指標等の推移

単体

(単位：百万円)

	2023年度中間期	2024年度中間期	2025年度中間期	2023年度	2024年度
経 常 収 益	36,242	35,658	47,655	75,989	75,895
う ち 信 託 報 酬	28	19	34	48	61
経 常 利 益	6,232	10,219	12,920	13,623	19,949
中 間 純 利 益	4,723	7,657	9,536	—	—
当 期 純 利 益	—	—	—	9,718	14,313
資 本 金	25,090	25,090	25,090	25,090	25,090
発 行 済 株 式 総 数 (千株)	17,055	16,455	16,455	16,755	16,455
純 資 産	251,349	261,483	282,809	285,425	261,187
総 資 産	5,233,039	5,587,912	6,055,754	5,380,511	5,723,370
預 金 残 高	4,476,904	4,700,147	5,298,105	4,519,813	4,797,283
貸 出 金 残 高	3,696,981	3,860,236	4,125,797	3,791,700	4,005,538
有 価 証 券 残 高	904,782	877,942	979,188	938,103	940,306
1 株 当 た り 配 当 額 (円)	80.00	110.00	150.00	180.00	270.00
自 己 資 本 比 率 (%)	4.80	4.67	4.67	5.30	4.56
単体総自己資本比率(国際統一基準) (%)	12.21	12.52	11.75	13.12	11.47
単体Tier 1 比率 (%) (国際統一基準)	10.17	10.47	10.27	11.14	9.91
単体普通株式等Tier1 比率 (%) (国際統一基準)	10.17	10.47	10.27	11.14	9.91
従 業 員 数 (人)	1,771	1,729	1,740	1,705	1,687
[外、平均臨時従業員数]	[460]	[464]	[481]	[450]	[468]
信 託 財 産 額	1,741	1,621	1,498	1,588	1,478
信 託 勘 定 貸 出 金 残 高	—	—	—	—	—
信 託 勘 定 有 価 証 券 残 高 (信託勘定電子記録移転有価証券 表示権利等残高を除く。)	—	—	—	—	—
信託勘定電子決済手段残高及び 履行保証電子決済手段残高	—	—	—	—	—
信託勘定暗号資産残高及び 履行保証暗号資産残高	—	—	—	—	—
信託勘定電子記録移転有価証券 表示権利等残高	—	—	—	—	—

- (注) 1. 自己資本比率は、((中間)期末純資産の部合計－(中間)期末新株予約権)を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。
2. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。
3. 従業員数は、嘱託、臨時従業員、海外現地採用者及び出向者を含んでおりません。

中間財務諸表

当行は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間財務諸表について有限責任 あずさ監査法人の監査証明を受けており、2025年11月27日付の中間監査報告書を受領しております。

本中間期ディスクロージャー誌の中間財務諸表は、上記の中間財務諸表に基づき記載内容を一部追加・変更するとともに、様式を一部変更して作成しておりますが、この中間財務諸表そのものについては中間監査を受けておりません。

中間貸借対照表 (単位：百万円)

		2024年中間期末 (2024年9月30日現在)	2025年中間期末 (2025年9月30日現在)
資産の部	現金預け金	784,588	883,905
	コールローン	999	1,339
	商品有価証券	2	3
	有価証券	877,942	979,188
	貸出金	3,860,236	4,125,797
	外国為替	4,042	3,721
	その他の資産	10,684	11,415
	その他の資産	10,684	11,415
	有形固定資産	39,453	40,093
	無形固定資産	1,109	584
	前払年金費用	14,581	15,721
	支払承諾見返	9,796	10,194
	貸倒引当金	△15,525	△16,211
資産の部合計		5,587,912	6,055,754
負債の部	預金	4,700,147	5,298,105
	譲渡性預金	182,732	33,000
	コールマネー	—	209
	借入金	350,548	350,074
	外国為替	85	471
	社債	20,000	10,000
	信託勘定借	1,621	1,498
	その他の負債	34,570	37,733
	未払法人税等	1,331	3,221
	リース債務	56	47
	資産除去債務	54	54
	その他の負債	33,128	34,409
	賞与引当金	967	997
	退職給付引当金	2,449	1,933
	睡眠預金払戻損失引当金	81	26
	偶発損失引当金	1,516	1,325
	繰延税金負債	19,146	24,590
	再評価に係る繰延税金負債	2,766	2,783
	支払承諾	9,796	10,194
負債の部合計		5,326,429	5,772,945
純資産の部	資本剰余金	25,090	25,090
	資本剰余金	18,645	18,653
	資本準備金	18,645	18,645
	その他の資本剰余金	—	7
	利益剰余金	161,306	173,212
	利益準備金	8,029	8,029
	その他の利益剰余金	153,276	165,182
	買換資産圧縮積立金	1,612	1,576
	別途積立金	57,720	57,720
	繰越利益剰余金	93,944	105,886
	自己株式	△425	△385
	株主資本合計	204,617	216,570
	その他有価証券評価差額金	52,998	62,591
	土地再評価差額金	3,867	3,647
	評価・換算差額等合計	56,865	66,238
純資産の部合計		261,483	282,809
負債及び純資産の部合計		5,587,912	6,055,754

中間財務諸表

中間損益計算書

(単位：百万円)

	2024年度中間期 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	2025年度中間期 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
経 常 収 益	35,658	47,655
資 金 運 用 収 益	24,338	34,215
(う ち 貸 出 金 利 息)	15,261	21,372
(う ち 有 価 証 券 利 息 配 当 金)	8,373	10,671
信 託 報 酬	19	34
役 務 取 引 等 収 益	6,545	7,422
そ の 他 業 務 収 益	121	199
そ の 他 経 常 収 益	4,632	5,783
経 常 費 用	25,439	34,735
資 金 調 達 費 用	3,977	9,328
(う ち 預 金 利 息)	1,067	6,645
役 務 取 引 等 費 用	2,155	2,383
そ の 他 業 務 費 用	4,458	6,253
営 業 経 費	13,866	15,094
そ の 他 経 常 費 用	981	1,674
経 常 利 益	10,219	12,920
特 別 利 益	—	341
特 別 損 失	114	36
税 引 前 中 間 純 利 益	10,104	13,226
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,724	3,551
法 人 税 等 調 整 額	723	138
法 人 税 等 合 計	2,447	3,689
中 間 純 利 益	7,657	9,536

中間株主資本等変動計算書

2024年度中間期（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
						買換資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	
当 期 首 残 高	25,090	18,645	—	18,645	8,029	1,620	57,720	89,989	157,359
当 中 間 期 変 動 額									
剰 余 金 の 配 当								△1,668	△1,668
中 間 純 利 益								7,657	7,657
自 己 株 式 の 取 得									
自 己 株 式 の 処 分			4	4					
自 己 株 式 の 消 却			△2,045	△2,045					
買換資産圧縮積立金の取崩						△7		7	—
土地再評価差額金の取崩									
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替			2,041	2,041				△2,041	△2,041
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	—	△7	—	3,955	3,947
当 中 間 期 末 残 高	25,090	18,645	—	18,645	8,029	1,612	57,720	93,944	161,306

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当 期 首 残 高	△367	200,728	80,829	3,867	84,696	285,425
当 中 間 期 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当		△1,668				△1,668
中 間 純 利 益		7,657				7,657
自 己 株 式 の 取 得	△2,156	△2,156				△2,156
自 己 株 式 の 処 分	53	57				57
自 己 株 式 の 消 却	2,045	—				—
買換資産圧縮積立金の取崩		—				—
土地再評価差額金の取崩						
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替		—				—
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）			△27,831	—	△27,831	△27,831
当 中 間 期 変 動 額 合 計	△58	3,889	△27,831	—	△27,831	△23,941
当 中 間 期 末 残 高	△425	204,617	52,998	3,867	56,865	261,483

2025年度中間期（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			利益剰余金合計
						買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期中間期首残高	25,090	18,645	—	18,645	8,029	1,583	57,720	98,826	166,160
当中間期変動額									
剰余金の配当								△2,622	△2,622
中間純利益								9,536	9,536
自己株式の取得									
自己株式の処分			7	7					
自己株式の消却									
買換資産圧縮積立金の取崩						△7		7	—
土地再評価差額金の取崩								138	138
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替									
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	—	—	7	7	—	△7	—	7,060	7,052
当中間期末残高	25,090	18,645	7	18,653	8,029	1,576	57,720	105,886	173,212

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当 期 首 残 高	△429	209,467	47,934	3,785	51,719	261,187
当 中 間 期 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当		△2,622				△2,622
中 間 純 利 益		9,536				9,536
自 己 株 式 の 取 得	△7	△7				△7
自 己 株 式 の 処 分	51	59				59
自 己 株 式 の 消 却						
買換資産圧縮積立金の取崩		—				—
土地再評価差額金の取崩		138				138
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替						
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）			14,656	△138	14,518	14,518
当 中 間 期 変 動 額 合 計	43	7,103	14,656	△138	14,518	21,622
当 中 間 期 末 残 高	△385	216,570	62,591	3,647	66,238	282,809

注記事項（2025年度中間期）

（重要な会計方針）

1. 商品有価証券の評価基準及び評価方法

商品有価証券の評価は、時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）により行っております。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券については時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし市場価格のない株式等については移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引の評価は、時価法により行っております。

4. 固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産（リース資産を除く）

有形固定資産は、定率法（ただし、1998年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建 物：15年～50年

その他： 4年～20年

（2）無形固定資産

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、行内における利用可能期間（主として5年）に基づいて償却しております。

（3）リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法により償却しております。なお、残存価額については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零としております。

5. 引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

「銀行等金融機関の資産の自己査定並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針」（日本公認会計士協会銀行等監査特別委員会報告第4号 2022年4月14日）に規定する各債務者区分の債権については、以下のとおりです。正常先債権及び要注意先債権に相当する債権については、主として今後1年間の予想損失額又は今後3年間の予想損失額を見込んで計上しており、予想損失額は、1年間の倒産実績を基礎とした倒産確率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求め、これに将来見込み等必要な修正を加えて算定しております。

破綻懸念先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち必要と認める額を計上しております。

破綻先債権及び実質破綻先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額を計上しております。

すべての債権は、自己査定基準に基づき、営業関連部署が一次・二次の資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しております。

（2）賞与引当金

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間会計期間に帰属する額を計上しております。

（3）退職給付引当金

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。また、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。なお、数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

数理計算上の差異：各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（12年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の日翌事業年度から損益処理

（4）睡眠預金払戻損失引当金

睡眠預金払戻損失引当金は、利益計上した睡眠預金について預金者からの払戻請求に基づく払戻損失に備えるため、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を計上しております。

（5）偶発損失引当金

偶発損失引当金は、貸出金等に係る信用保証協会の保証についての責任共有制度による将来の負担金支払に備えるため、過去の貸倒実績等を勘案して必要と認められる額を計上しております。

6. 収益の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識しております。

当行は、次の5つのステップを適用し顧客との取引に関する収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

当行の顧客との取引に関する収益は、主として約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で認識される取引サービスに係るものであり、為替業務等に係る手数料、資金取引等に係る手数料、証券業務等に係る手数料、代理業務等に係る手数料、その他銀行サービスの提供等に係る手数料等が含まれております。

7. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債及び海外支店勘定は、中間決算日の為替相場による円換算額を付しております。

8. ヘッジ会計の方法

為替変動リスク・ヘッジ

外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第25号 2020年10月8日）に規定する繰延ヘッジによっております。

ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

9. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

（1）退職給付に係る会計処理

退職給付に係る未認識数理計算上の差異の会計処理の方法は、中間連結財務諸表におけるこれらの会計処理の方法と異なっております。

（2）消費税等の会計処理

有形固定資産に係る控除対象外消費税等は当中間会計期間の費用に計上しております。

(中間貸借対照表関係)

1. 関係会社の株式又は出資金の総額

株式	4,035百万円
出資金	3,180百万円

2. 銀行法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権は次のとおりであります。なお、債権は、中間貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに支払承諾見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は貸借契約によるものに限る。）であります。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	9,234百万円
危険債権額	58,009百万円
要管理債権額	12,504百万円
三月以上延滞債権額	992百万円
貸出条件緩和債権額	11,512百万円
小計額	79,749百万円
正常債権額	4,112,459百万円
合計額	4,192,209百万円

破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権であります。

危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で破産更生債権及びこれらに準ずる債権に該当しないものであります。

三月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権に該当しないものであります。

貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに三月以上延滞債権に該当しないものであります。

正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、三月以上延滞債権並びに貸出条件緩和債権以外のものに区分される債権であります。

なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

3. 手形割引は、業種別委員会実務指針第24号に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及び買入外国為替等は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

10,186百万円

4. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

有価証券	74,600百万円
貸出金	471,957百万円
その他の資産	8百万円
計	546,566百万円

担保資産に対応する債務

預金	27,480百万円
借入金	330,000百万円

なお、上記有価証券のうち預金及び手形交換等の取引の共通担保として、次のものを差し入れております。

有価証券	74,600百万円
------	-----------

上記のほか、内国為替決済等の取引の担保として、次のものを差し入れております。

有価証券	24,221百万円
------	-----------

また、その他の資産には、金融商品等差入担保金及び保証金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

金融商品等差入担保金	1,747百万円
保証金	600百万円

5. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

融資未実行残高	744,709百万円
うち原契約期間が1年以内のもの （又は任意の時期に無条件で取消可能なもの）	721,853百万円

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当行の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当行が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている行内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

6. 有形固定資産の圧縮記帳額

圧縮記帳額	2,888百万円
（当中間会計期間の圧縮記帳額）	（一百万円）

7. 借入金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。

劣後特約付借入金	20,000百万円
----------	-----------

8. 社債には、実質破綻時免除特約付劣後社債が含まれております。

実質破綻時免除特約付劣後社債	10,000百万円
----------------	-----------

9. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額

53,814百万円

10. 元本補填契約のある信託の元本金額は、次のとおりであります。

金銭信託	1,498百万円
------	----------

(中間損益計算書関係)

1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。

株式等売却益	5,538百万円
償却債権取立益	0百万円

2. 減価償却実施額は次のとおりであります。

有形固定資産	619百万円
無形固定資産	337百万円

3. その他経常費用には、次のものを含んでおります。

貸倒引当金繰入額	889百万円
株式等売却損	13百万円
偶発損失引当金繰入額	16百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「セグメント情報等」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当行は、2025年4月22日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月1日付で「株式分割」及び株式分割に伴う「定款の一部変更」を行いました。

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

株式分割を行うことにより、当行株式の投資単位当たりの金額（最低投資金額）を引き下げ、当行株式に投資しやすい環境を整えることで、当行株式の流動性を高め、投資家層の更なる拡大を図ることを目的とするものです。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2025年9月30日（火曜日）最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式1株につき、3株の割合をもって分割いたしました。

なお、今回の株式分割に際しまして、資本金の額の変更はありません。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数	16,455,487株
今回の分割により増加する株式数	32,910,974株
株式分割後の発行済株式総数	49,366,461株
株式分割後の発行可能株式総数	150,000,000株

③分割の日程

基準日公告日	2025年9月12日（金曜日）
基準日	2025年9月30日（火曜日）
効力発生日	2025年10月1日（水曜日）

④1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
1株当たり純資産額	5,311円11銭	5,748円44銭
	前中間会計期間 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	当中間会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日
1株当たり中間純利益	155円05銭	193円89銭
潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株式分割に伴う定款の一部変更について

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日（水曜日）をもって、当行定款第5条の発行可能株式総数を分割比率に合わせて変更いたしました。

(2) 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更箇所を示します)

変更前定款	変更後定款
第5条（発行可能株式総数） 当銀行の発行可能株式総数は、 <u>5千</u> <u>万株</u> とする。	第5条（発行可能株式総数） 当銀行の発行可能株式総数は、 <u>1億</u> <u>5千万株</u> とする。

損益の状況

損益の状況

業務粗利益等 (単位：百万円)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
資 金 運 用 収 支	19,618	743	20,361	23,629	1,257	24,887
信 託 報 酬	19	—	19	34	—	34
役 務 取 引 等 収 支	4,330	60	4,390	4,930	108	5,039
そ の 他 業 務 収 支	△4,151	△185	△4,336	△6,200	146	△6,053
業 務 粗 利 益	19,816	618	20,435	22,393	1,513	23,907
業 務 粗 利 益 率	0.76%	0.47%	0.78%	0.79%	1.17%	0.84%

(注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引及び海外店の取引であります。ただし、円建対非居住者取引、特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めております。
2. 資金調達費用から控除すべき金銭の信託運用見合費用はありません。
3. 業務粗利益率 = $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100 \times 365 / 183$

業務純益等 (単位：百万円)

	2024年度中間期	2025年度中間期
業 務 純 益	5,791	8,467
実 質 業 務 純 益	5,791	8,346
コ ア 業 務 純 益	10,070	14,518
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益を除く。)	10,377	14,483

資金運用・調達勘定の平均残高、利息、利回り

〈国内業務部門〉 (単位：百万円)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	平均残高	利 息	利 回 り	平均残高	利 息	利 回 り
資 金 運 用 勘 定	(221,326) 5,139,389	(74) 20,674	0.80%	(219,891) 5,637,017	(504) 30,698	1.08%
うち 貸 出 金	3,768,501	15,057	0.79%	4,002,976	21,176	1.05%
資 金 調 達 勘 定	5,027,192	1,055	0.04%	5,518,362	7,068	0.25%
うち 預 金	4,519,379	789	0.03%	5,011,913	6,388	0.25%

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（2024／9期 27,897百万円、2025／9期 40,608百万円）を控除して表示しております。資金調達勘定から控除すべき金銭の信託運用見合額の平均残高及び利息はありません。
2. () 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。

〈国際業務部門〉 (単位：百万円)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	平均残高	利 息	利 回 り	平均残高	利 息	利 回 り
資 金 運 用 勘 定	258,676	3,739	2.88%	257,179	4,021	3.11%
うち 貸 出 金	13,913	203	2.92%	13,386	196	2.92%
資 金 調 達 勘 定	(221,326) 258,908	(74) 2,996	2.30%	(219,891) 257,385	(504) 2,764	2.14%
うち 預 金	30,494	278	1.82%	34,716	256	1.47%

(注) 1. 資金運用勘定から控除すべき無利息預け金の平均残高及び、資金調達勘定から控除すべき金銭の信託運用見合額の平均残高及び利息はありません。
2. () 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。

受取・支払利息の分析

〈国内業務部門〉

(単位：百万円)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純 増 減	残高による増減	利率による増減	純 増 減
受 取 利 息	1,838	△83	1,754	2,710	7,314	10,024
うち貸出金	612	505	1,118	1,240	4,878	6,119
支 払 利 息	23	822	845	629	5,383	6,012
うち預金	30	649	680	627	4,971	5,598

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減要因に含めております。

〈国際業務部門〉

(単位：百万円)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純 増 減	残高による増減	利率による増減	純 増 減
受 取 利 息	△31	561	529	△23	305	282
うち貸出金	△29	△13	△42	△7	△0	△7
支 払 利 息	△30	△1,978	△2,009	△16	△215	△231
うち預金	△127	△246	△374	31	△52	△21

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減要因に含めております。

利益率

(単位：%)

	2024年度中間期	2025年度中間期
総 資 産 経 常 利 益 率	0.37	0.43
資 本 経 常 利 益 率	7.45	9.47
総 資 産 中 間 純 利 益 率	0.27	0.32
資 本 中 間 純 利 益 率	5.58	6.99

- (注) 1. 総資産経常（中間純）利益率＝ $\frac{\text{経常（中間純）利益}}{(\text{期首総資産（除く支払承諾見返）} + \text{期末総資産（除く支払承諾見返）}) \div 2} \times 100 \times 365 / 183$
2. 資本経常（中間純）利益率＝ $\frac{\text{経常（中間純）利益}}{(\text{期首純資産の部} + \text{期末純資産の部}) \div 2} \times 100 \times 365 / 183$

総資金利鞘

(単位：%)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
資 金 運 用 利 回 り (A)	0.80	2.88	0.93	1.08	3.11	1.20
資 金 調 達 原 価 (B)	0.61	2.52	0.73	0.80	2.40	0.89
総 資 金 利 鞘 (A)－(B)	0.19	0.36	0.20	0.28	0.71	0.31

営業の状況

営業の状況

■ 預金業務

預金の科目別残高

(単位：百万円)

		2024年度中間期					
		中間期末残高	国内業務部門	国際業務部門	平均残高	国内業務部門	国際業務部門
預金	流動性預金	3,307,795	3,307,395	399	3,305,628	3,305,123	505
	うち有利利息預金	2,905,793	2,905,393	399	2,909,962	2,909,457	505
	定期性預金	1,358,297	1,349,481	8,815	1,211,871	1,203,359	8,512
	うち固定金利定期預金	1,348,802	1,348,802		1,202,671	1,202,671	
	うち変動金利定期預金	603	603		612	612	
	その他の	34,054	13,759	20,295	32,372	10,896	21,476
	合計	4,700,147	4,670,636	29,511	4,549,873	4,519,379	30,494
譲渡性預金		182,732	182,732	—	135,609	135,609	—
総合計		4,882,880	4,853,368	29,511	4,685,482	4,654,988	30,494

		2025年度中間期					
		中間期末残高	国内業務部門	国際業務部門	平均残高	国内業務部門	国際業務部門
預金	流動性預金	3,276,187	3,274,019	2,167	3,308,242	3,307,126	1,115
	うち有利利息預金	2,892,520	2,890,352	2,167	2,917,453	2,916,337	1,115
	定期性預金	1,984,415	1,973,155	11,259	1,704,365	1,693,231	11,134
	うち固定金利定期預金	1,972,575	1,972,575		1,692,632	1,692,632	
	うち変動金利定期預金	505	505		524	524	
	その他の	37,503	14,731	22,771	34,021	11,555	22,466
	合計	5,298,105	5,261,906	36,199	5,046,630	5,011,913	34,716
譲渡性預金		33,000	33,000	—	146,097	146,097	—
総合計		5,331,105	5,294,906	36,199	5,192,727	5,158,011	34,716

- (注) 1. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金
2. 定期性預金＝定期預金＋定期積金
固定金利定期預金：預入時に満期日迄の利率が確定する定期預金
変動金利定期預金：預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金
3. 国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式により算出しております。

定期預金（国内店）の残存期間別残高

(単位：百万円)

		2024年9月30日						
		3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上	合計
定期預金		539,056	249,835	374,426	36,761	59,576	57,541	1,317,199
うち固定金利定期預金		538,985	249,764	374,282	36,526	59,486	57,541	1,316,586
うち変動金利定期預金		61	71	143	235	90	—	603
その他の		9	—	—	—	—	—	9

		2025年9月30日						
		3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上	合計
定期預金		942,519	303,489	513,187	56,275	44,224	82,597	1,942,293
うち固定金利定期預金		942,460	303,436	513,099	56,047	44,137	82,597	1,941,778
うち変動金利定期預金		48	53	88	227	87	—	505
その他の		9	—	—	—	—	—	9

(注) 本表の預金残高には、積立定期預金を含んでおりません。

■ 貸出業務

貸出金科目別残高

(単位：百万円)

				2024年度中間期					
				中間期末残高	国内業務部門	国際業務部門	平均残高	国内業務部門	国際業務部門
手形貸付				69,914	69,842	72	68,881	68,607	274
証書貸付				3,483,541	3,469,568	13,973	3,421,807	3,408,169	13,638
当座貸越				290,604	290,604	—	275,782	275,782	—
割引手形				16,176	16,176	—	15,942	15,942	—
合 計				3,860,236	3,846,191	14,045	3,782,414	3,768,501	13,913

				2025年度中間期					
				中間期末残高	国内業務部門	国際業務部門	平均残高	国内業務部門	国際業務部門
手形貸付				68,212	68,047	164	66,977	66,821	156
証書貸付				3,711,031	3,695,325	15,705	3,632,911	3,619,681	13,230
当座貸越				336,446	336,446	—	305,654	305,654	—
割引手形				10,108	10,108	—	10,818	10,818	—
合 計				4,125,797	4,109,927	15,870	4,016,362	4,002,976	13,386

(注) 国際業務部門の国内店外貸建取引の平均残高は、月次カレント方式により算出しております。

貸出金（国内店）の残存期間別残高

(単位：百万円)

				2024年9月30日						
				1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超	期間の定め のないもの	合計
貸出金				176,485	230,988	385,224	413,956	2,349,811	290,604	3,847,070
うち変動金利					106,645	253,766	185,026	1,855,971	290,604	
うち固定金利					124,343	131,457	228,929	493,839	—	

				2025年9月30日						
				1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超	期間の定め のないもの	合計
貸出金				167,153	257,055	538,286	342,786	2,470,498	336,446	4,112,227
うち変動金利					123,676	307,454	176,580	1,945,599	336,446	
うち固定金利					133,379	230,832	166,206	524,899	—	

(注) 1. 貸出金残高には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。
2. 残存期間1年以下の貸出金については、変動金利、固定金利の区別をしておりません。

貸出金の預金に対する比率（預貸率）

(単位：%)

				2024年9月30日			2025年9月30日		
				国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
期末値				79.15	47.59	78.96	77.55	43.84	77.32
期中平均値				80.88	45.62	80.65	77.57	38.55	77.30

(注) 預金には譲渡性預金を含んでおります。

貸出金使途別内訳

(単位：百万円)

				2024年9月30日		2025年9月30日	
				貸出金残高	構成比 (%)	貸出金残高	構成比 (%)
設備資金				1,730,716	44.99	1,793,384	43.61
運転資金				2,116,354	55.01	2,318,842	56.39
合 計				3,847,070	100.00	4,112,227	100.00

(注) 貸出金残高には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

業種別貸出状況

(単位：百万円)

	2024年9月30日		2025年9月30日	
	貸出金残高	構成比 (%)	貸出金残高	構成比 (%)
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	3,847,070	100.00	4,112,227	100.00
製造業	466,120	12.12	486,684	11.84
農業，林業	1,477	0.04	1,686	0.04
漁業	20	0.00	43	0.00
鉱業，採石業，砂利採取業	3,526	0.09	3,861	0.09
建設業	231,798	6.03	241,107	5.86
電気・ガス・熱供給・水道業	72,138	1.88	67,257	1.64
情報通信業	25,159	0.65	29,358	0.71
運輸業，郵便業	119,830	3.11	129,124	3.14
卸売業，小売業	381,407	9.91	432,325	10.51
金融業，保険業	426,136	11.08	480,081	11.67
不動産業，物品賃貸業	557,100	14.48	608,135	14.79
学術研究，専門・技術サービス業	29,856	0.78	30,727	0.75
宿泊業，飲食サービス業	39,728	1.03	39,654	0.96
生活関連サービス業，娯楽業	36,783	0.96	37,495	0.91
教育，学習支援業	11,880	0.31	13,662	0.33
医療，福祉	61,073	1.59	65,297	1.59
その他のサービス	91,355	2.37	97,506	2.37
地方公共団体	208,221	5.41	229,450	5.58
その他	1,083,455	28.16	1,118,766	27.21
海外店分及び国際金融取引勘定分	13,166	100.00	13,570	100.00
政府等	—	—	—	—
金融機関	—	—	—	—
その他	13,166	100.00	13,570	100.00
合計	3,860,236		4,125,797	

貸出金担保別内訳

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日
有価証券	8,855	10,723
債権	31,808	32,997
商品	—	—
不動産	1,021,118	1,092,318
その他	—	—
計	1,061,782	1,136,039
保証	1,102,711	1,090,593
信用	1,695,742	1,899,164
合計	3,860,236	4,125,797
(うち劣後特約付貸出金)	(610)	(610)

支払承諾見返の担保別内訳

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日
有価証券	—	—
債権	107	82
商品	—	—
不動産	882	791
その他	—	—
計	989	874
保証	370	271
信用	8,436	9,048
合計	9,796	10,194

中小企業等に対する貸出金、比率

(単位：件、百万円)

	2024年9月30日		2025年9月30日	
	貸出先数	金 額	貸出先数	金 額
総 貸 出 金 残 高 (A)	87,637	3,847,070	89,421	4,112,227
中 小 企 業 等 貸 出 金 残 高 (B)	87,268	3,323,651	89,026	3,525,362
(B) / (A)	99.58%	86.39%	99.56%	85.73%

(注) 1. 貸出金残高には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。
2. 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等であります。

貸出金償却額

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日
償 却 額	—	0

特定海外債権残高

2024年度中間期、2025年度中間期とも該当ありません。

貸倒引当金内訳

(単位：百万円)

	2024年度中間期				
	期首残高	期中増加額	期中減少額		中間期末残高
			目的使用	その他	
貸 倒 引 当 金	(—) 15,965	15,525	440	15,525	15,525
一 般 貸 倒 引 当 金	8,312	8,433	—	8,312	8,433
個 別 貸 倒 引 当 金	(—) 7,653	7,091	440	7,212	7,091
うち非居住者向け債権分	(—) —	—	—	—	—

	2025年度中間期				
	期首残高	期中増加額	期中減少額		中間期末残高
			目的使用	その他	
貸 倒 引 当 金	(—) 15,797	16,211	475	15,322	16,211
一 般 貸 倒 引 当 金	8,636	8,515	—	8,636	8,515
個 別 貸 倒 引 当 金	(—) 7,161	7,695	475	6,686	7,695
うち非居住者向け債権分	(—) —	—	—	—	—

(注) 1. 期中減少額（その他）欄に記載の減少額はそれぞれ次の理由によるものであります。
一般貸倒引当金：洗替による取崩額、個別貸倒引当金：主として洗替による取崩額
2. () 内は為替換算差額であります。

■ 証券・国際業務

有価証券の残存期間別残高

(単位：百万円)

	2024年9月30日							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	計
国債	—	—	20,996	10,704	15,924	54,917		102,542
地方債	12,765	24,623	21,529	23,738	37,346	581		120,583
短期社債	—							—
社債	39,750	61,397	45,366	39,358	9,515	5,396	—	200,784
株式							127,046	127,046
その他	15,489	8,228	10,593	20,698	38,243	195,845	37,886	326,984
うち外国債券	14,492	493	—	4,494	7,909	189,629	—	217,019
うち外国株式							0	0
合計	68,005	94,248	98,485	94,500	101,029	256,740	164,933	877,942

	2025年9月30日							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	計
国債	—	9,832	96,976	34,410	54,185	19,477		214,882
地方債	14,853	17,718	28,982	3,722	35,061	—		100,338
短期社債	—							—
社債	37,704	56,763	53,225	28,964	7,579	4,917	—	189,154
株式							135,580	135,580
その他	683	9,638	19,450	33,156	24,909	215,811	35,582	339,232
うち外国債券	—	2,015	7,064	—	12,098	209,090	—	230,268
うち外国株式							0	0
合計	53,242	93,953	198,634	100,253	121,735	240,205	171,163	979,188

有価証券平均残高

(単位：百万円)

	2024年度中間期			2025年度中間期		
	平均残高	国内業務部門	国際業務部門	平均残高	国内業務部門	国際業務部門
国債	116,080	116,080	—	202,300	202,300	—
地方債	135,215	135,215	—	95,581	95,581	—
短期社債	—	—	—	—	—	—
社債	209,097	209,097	—	195,614	195,614	—
株式	41,809	41,809	—	38,715	38,715	—
その他	336,231	107,801	228,430	333,823	106,650	227,172
うち外国債券	228,429	—	228,429	227,172	—	227,172
うち外国株式	0	—	0	0	—	0
合計	838,434	610,004	228,430	866,035	638,862	227,172

(注) 国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式により算出しております。

有価証券の預金に対する比率（預証率）

(単位：百万円)

	2024年9月30日				2025年9月30日			
	有価証券 (A)	預金 (B)	預証率 (%)		有価証券 (A)	預金 (B)	預証率 (%)	
			期末値(A)/(B)	期中平均値			期末値(A)/(B)	期中平均値
国内業務部門	660,922	4,853,368	13.61	13.10	748,920	5,294,906	14.14	12.38
国際業務部門	217,020	29,511	735.38	749.09	230,268	36,199	636.11	654.36
合計	877,942	4,882,880	17.98	17.89	979,188	5,331,105	18.36	16.67

(注) 預金には譲渡性預金を含んでおります。

公共債ディーリング実績

(単位：百万円)

	2024年度中間期		2025年度中間期	
	売買高	平均残高	売買高	平均残高
商品国債	622	4	1,063	7
商品地方債	—	—	—	—
商品政府保証債	—	—	—	—
その他の商品有価証券	—	—	—	—
合計	622	4	1,063	7

■ 信託業務

信託財産残高表

(単位：百万円)

資 産	2024年9月30日	2025年9月30日
銀行勘定貸	1,621	1,498
合 計	1,621	1,498

(注) 共同信託他社管理財産については、取扱残高はありません。

(単位：百万円)

負 債	2024年9月30日	2025年9月30日
金 銭 信 託	1,621	1,498
合 計	1,621	1,498

元本補填契約のある信託の種類別の受託残高

金銭信託

(単位：百万円)

資 産	2024年9月30日	2025年9月30日
銀行勘定貸	1,621	1,498
合 計	1,621	1,498

(単位：百万円)

負 債	2024年9月30日	2025年9月30日
元 本	1,621	1,498
そ の 他	—	—
合 計	1,621	1,498

金銭信託等の受託残高

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日
金 銭 信 託	1,621	1,498

(注) 年金信託、財産形成給付信託、貸付信託については該当ありません。

信託期間別の元本残高

(単位：百万円)

		2024年9月30日	2025年9月30日
金 銭 信 託	1年未満	—	—
	1年以上2年未満	—	—
	2年以上5年未満	—	—
	5年以上	1,621	1,498
	その他のもの	—	—
	合計	1,621	1,498

(注) 貸付信託については取扱残高はありません。

以下の事項に該当するものではありません。

- ①金銭信託等の種類別の貸出金、有価証券、電子決済手段及び暗号資産の区分ごとの運用残高
- ②金銭信託等に係る貸出金の科目別（証書貸付、手形貸付及び割引手形の区分をいう。）の残高
- ③金銭信託等に係る貸出金の契約期間別の残高
- ④担保の種類別（有価証券、債権、商品、不動産、保証及び信用の区分をいう。）の金銭信託等に係る貸出金残高
- ⑤使途別（設備資金及び運転資金の区分をいう。）の金銭信託等に係る貸出金残高
- ⑥業種別の金銭信託等に係る貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合
- ⑦中小企業等（資本金3億円以下の会社若しくは常時使用する従業員が300人以下の会社又は個人をいう。ただし、卸売業にあっては資本金1億円以下の会社若しくは常時使用する従業員が100人以下の会社又は個人を、サービス業にあっては資本金5千万円以下若しくは常時使用する従業員が100人以下の会社又は個人を、小売業及び飲食店にあっては資本金5千万円以下若しくは常時使用する従業員が50人以下の会社又は個人をいう。）に対する金銭信託等に係る貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合
- ⑧金銭信託等に係る有価証券の種類別（国債、地方債、短期社債、社債及び株式その他の証券の区分をいう。）の残高
- ⑨電子決済手段の種類別の残高
- ⑩暗号資産の種類別の残高
- ⑪元本補填契約のある信託に係る債権のうち破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、三月以上延滞債権並びに貸出条件緩和債権に該当するものの額並びにこれらの合計額並びに正常債権に該当するものの額

時価情報

有価証券関係

(1) 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

		2024年9月30日			2025年9月30日		
		中間貸借対照表計上額	時価	差額	中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	その他の(外国債券)	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	その他の(外国債券)	120,000	116,409	△3,590	120,000	114,341	△5,658
	小計	120,000	116,409	△3,590	120,000	114,341	△5,658
合 計		120,000	116,409	△3,590	120,000	114,341	△5,658

(2) その他有価証券

(単位：百万円)

		2024年9月30日			2025年9月30日		
		中間貸借対照表計上額	取得原価	差額	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	120,766	34,665	86,101	129,422	31,323	98,099
	債券	56,703	56,366	336	—	—	—
	国債	38,664	38,421	242	—	—	—
	地方債	7,775	7,725	50	—	—	—
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	10,262	10,220	42	—	—	—
	その他の小計	128,998	125,320	3,677	150,572	143,473	7,099
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	355	392	△37	266	313	△47
	債券	367,207	379,331	△12,123	504,375	518,789	△14,413
	国債	63,878	70,301	△6,423	214,882	223,598	△8,716
	地方債	112,808	115,122	△2,314	100,338	102,344	△2,005
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	190,521	193,907	△3,385	189,154	192,846	△3,692
	その他の小計	43,423	46,015	△2,591	30,047	30,992	△944
合 計		410,986	425,739	△14,752	534,689	550,095	△15,405
合 計		717,455	642,092	75,362	814,685	724,891	89,793

(注) 売買目的有価証券以外の有価証券（市場価格のない株式等及び組合出資金を除く）のうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって中間貸借対照表計上額とするとともに、評価差額を当中間会計期間の損失として処理（以下「減損処理」という）しております。

2024年度中間期における減損処理額は、5百万円（うち、株式5百万円）であります。2025年度中間期における減損処理額は、20百万円（うち、債券20百万円）であります。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、時価が取得原価に比べて30%以上下落したものとしております。

減損処理にあたり、時価のある銘柄は、当中間会計期間末日における時価の取得原価に対する下落率が50%以上の銘柄について、一律減損処理しております。

下落率が30%以上50%未満の銘柄については、回復可能性を検討し、時価の下落が一時的で、概ね1年以内に取得原価に近い水準まで時価が回復することを合理的な根拠を持って予測できる場合を除き、すべて減損処理しております。

(3) 市場価格のない有価証券

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日
	中間貸借対照表計上額	中間貸借対照表計上額
子会社株式・関係会社株式	4,035	4,035
非上場株式	1,889	1,856
組合出資金	34,561	38,611

(注) 2024年度中間会計期間における減損処理額は、47百万円（その他47百万円）であります。2025年度中間会計期間における減損処理額は、46百万円（その他46百万円）であります。

金銭の信託関係

(1) 満期保有目的の金銭の信託

2024年度中間期、2025年度中間期とも該当ありません。

(2) その他の金銭の信託（運用目的及び満期保有目的以外）

2024年度中間期、2025年度中間期とも該当ありません。

その他有価証券評価差額金

中間貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内容は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2024年9月30日	2025年9月30日
評価差額	75,395	89,961
その他の有価証券	75,395	89,961
その他の金銭の信託	—	—
(△)繰延税金負債	22,396	27,370
その他有価証券評価差額金	52,998	62,591

デリバティブ取引情報

デリバティブ取引の時価等に関する事項
2024年度中間期

- (1) 金利関連取引
該当ありません。
- (2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

区 分	種 類	2024年9月30日								
		ヘッジ会計が適用されていない取引				ヘッジ会計が適用されている取引				
		契約額等	うち1年超	時 価	評価損益	ヘッジ会計の方法	主なヘッジ対象	契約額等	うち1年超	時 価
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店 頭	通貨スワップ	86,522	—	2,130	2,130	—	—	—	—	—
	為替予約	9,815	—	52	52	—	—	—	—	—
	売 建	4,467	—	96	96	—	—	—	—	—
	買 建	5,348	—	△44	△44	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計				2,182	2,182					—

(注) ヘッジ会計が適用されていない取引については、評価損益を中間損益計算書に計上しております。

- (3) 株式関連取引
該当ありません。
- (4) 債券関連取引
該当ありません。
- (5) 商品関連取引
該当ありません。
- (6) クレジットデリバティブ取引
該当ありません。
- (7) その他

(単位：百万円)

区 分	種 類	2024年9月30日			
		ヘッジが適用されていない取引			
		契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
店 頭	地震デリバティブ等				
	売 建	1,170	150	△20	—
	買 建	1,170	150	20	—
合 計				—	—

2025年度中間期

(1) 金利関連取引

該当ありません。

(2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

区 分	種 類	2025年9月30日								
		ヘッジ会計が適用されていない取引				ヘッジ会計が適用されている取引				
		契約額等	うち1年超	時 価	評価損益	ヘッジ会計の方法	主なヘッジ対象	契約額等	うち1年超	時 価
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店 頭	通貨スワップ	109,260	—	△2,189	△2,189	—	—	—	—	—
	為替予約	9,956	—	△0	△0	—	—	—	—	—
	売 建	4,414	—	△37	△37	—	—	—	—	—
	買 建	5,541	—	37	37	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	買 建	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計				△2,189	△2,189					—

(注) ヘッジ会計が適用されていない取引については、評価損益を中間損益計算書に計上しております。

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

該当ありません。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

(7) その他

(単位：百万円)

区 分	種 類	2025年9月30日			
		ヘッジが適用されていない取引			
		契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
店 頭	地震デリバティブ等				
	売 建	1,230	50	18	—
	買 建	1,230	50	△18	—
合 計				—	—

電子決済手段

該当ありません。

暗号資産

該当ありません。

株式の状況

所有者別株式状況

(2025年9月30日現在)

	株式の状況（1単元の株式数100株）								単元未満株式の状況
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他	計	
					個人以外	個人			
株主数	—人	24	33	1,031	160	15	8,753	10,016	
所有株式数	—単元	51,266	5,719	41,783	31,651	19	33,118	163,556	99,887株
割合	—%	31.34	3.50	25.55	19.35	0.01	20.25	100.00	

(注) 1. 自己株式56,302株は、「個人その他」に563単元、「単元未満株式の状況」に2株含まれております。
2. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が1単元含まれております。

所有数別株式状況

(2025年9月30日現在)

	株式の状況									単元未満株式の状況
	5,000単元 以上	1,000単元 以上	500単元 以上	100単元 以上	50単元 以上	10単元 以上	5単元 以上	1単元 以上	計	
株主数	6人	19	21	110	139	987	900	7,834	10,016	
割合	0.06%	0.19	0.21	1.10	1.39	9.85	8.99	78.21	100.00	
所有株式数	48,425単元	34,815	13,979	21,815	9,388	19,121	5,510	10,503	163,556	99,887株
割合	29.61%	21.29	8.55	13.34	5.74	11.69	3.37	6.42	100.00	

大株主の状況

(2025年9月30日現在)

氏名又は名称	所有株式数	発行済株式（自己株式を除く。） の総数に対する所有株式数の割合
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,535	9.36
MORGAN STANLEY & CO. LLC	958	5.84
日本生命保険相互会社	726	4.43
明治安田生命保険相互会社	581	3.54
名銀みのり会	524	3.19
住友生命保険相互会社	516	3.14
株式会社みずほ銀行	421	2.57
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	413	2.52
大樹生命保険株式会社	368	2.24
東邦瓦斯株式会社	321	1.96
計	6,367	38.82

バーゼルⅢ 第3の柱に基づく開示

当行は2024年3月末基準より、新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ最終化）に基づき自己資本比率の算出を行っております。

自己資本の構成に関する開示事項

■ 連結自己資本比率

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結・持株）				
国際様式の 該 当 番 号	項 目	イ	ロ	ハ
		2025年9月末	2024年9月末	別紙様式 第十四号（CC2） の参照項目
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目				
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	223,642	212,173	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	46,340	46,332	①+②
2	うち、利益剰余金の額	180,147	168,069	③
1c	うち、自己株式の額（△）	385	425	④
26	うち、社外流出予定額（△）	2,459	1,803	
	うち、上記以外に該当するものの額	—	—	
1b	普通株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	⑦
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	71,323	64,731	⑥
5	普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額（イ）	294,965	276,904	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目				
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	499	934	
8	うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	499	934	⑪
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—	⑬
11	繰延ヘッジ損益の額	—	—	⑤
12	適格引当金不足額	—	—	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	
15	退職給付に係る資産の額	14,496	16,259	⑫
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されているものを除く。）の額	0	0	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	—	—	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	—	—	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	—	—	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	—	—	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
27	その他Tier1資本不足額	—	—	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額（ロ）	14,995	17,194	
普通株式等Tier1資本				
29	普通株式等Tier1資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	279,970	259,710	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結・持株）					
国際様式の 該 当 番 号		項 目	イ	ロ	ハ
			2025年9月末	2024年9月末	別紙様式 第十四号（CC2） の参照項目
その他Tier1資本に係る基礎項目					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	—	—	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
34		その他Tier1資本に係る調整後非支配株主持分等の額	—	—	⑧
36		その他Tier1資本に係る基礎項目の額（二）	—	—	
その他Tier1資本に係る調整項目					
37		自己保有その他Tier1資本調達手段の額	—	—	
38		意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
39		少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
40		その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
42		Tier2資本不足額	—	—	
43		その他Tier1資本に係る調整項目の額（ホ）	—	—	
その他Tier1資本					
44		その他Tier1資本の額（（二）－（ホ））（ヘ）	—	—	
Tier1資本					
45		Tier1資本の額（（ハ）＋（ヘ））（ト）	279,970	259,710	
Tier2資本に係る基礎項目					
46		Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
		Tier2資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
		Tier2資本調達手段に係る負債の額	30,000	40,000	⑮
		特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	—	—	
48		Tier2資本に係る調整後非支配株主持分等の額	—	—	⑧
50		一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	9,469	9,305	
50a		うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	9,469	9,305	⑭
50b		うち、適格引当金Tier2算入額	—	—	
51		Tier2資本に係る基礎項目の額（チ）	39,469	49,305	
Tier2資本に係る調整項目					
52		自己保有Tier2資本調達手段の額	—	—	
53		意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
54		少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
55		その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
57		Tier2資本に係る調整項目の額（リ）	—	—	
Tier2資本					
58		Tier2資本の額（（チ）－（リ））（ヌ）	39,469	49,305	
総自己資本					
59		総自己資本の額（（ト）＋（ヌ））（ル）	319,439	309,016	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結・持株）				
国際様式の 該 当 番 号	項 目	イ	ロ	ハ
		2025年9月末	2024年9月末	別紙様式 第十四号（CC2） の参照項目
リスク・アセット				
60	リスク・アセットの額の合計額 (ヲ)	2,662,071	2,427,028	
連結自己資本比率及び資本バッファ				
61	連結普通株式等Tier1比率 ((ハ)／(ヲ))	10.51%	10.70%	
62	連結Tier1比率 ((ト)／(ヲ))	10.51%	10.70%	
63	連結総自己資本比率 ((ル)／(ヲ))	11.99%	12.73%	
64	最低連結資本バッファ比率	2.50%	2.50%	
65	うち、資本保全バッファ比率	2.50%	2.50%	
66	うち、カウンター・シクリカル・バッファ比率	0.00%	0.00%	
67	うち、G-SIB/D-SIBバッファ比率	—	—	
68	連結資本バッファ比率	3.99%	4.70%	
調整項目に係る参考事項				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	10,766	10,501	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	—	—	
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項				
76	一般貸倒引当金の額	9,469	9,305	⑭
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	32,473	29,056	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	—	—	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	—	—	

■ 単体自己資本比率

(単位：百万円、%)

CC 1：自己資本の構成（銀行単体）				
国際様式の 該 当 番 号	項 目	イ	ロ	ハ
		2025年9月末	2024年9月末	別紙様式 第十三号（CC2） の参照項目
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目				
1a+2－1c－26	普通株式に係る株主資本の額	214,110	202,814	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	43,744	43,736	①+②
2	うち、利益剰余金の額	173,212	161,306	③
1c	うち、自己株式の額（△）	385	425	④
26	うち、社外流出予定額（△）	2,459	1,803	
	うち、上記以外に該当するものの額	—	—	
1b	普通株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	⑦
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	66,238	56,865	⑥
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額（イ）	280,349	259,680	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目				
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	401	770	
8	うち、のれんに係るものの額	—	—	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	401	770	⑪
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—	⑬
11	繰延ヘッジ損益の額	—	—	⑤
12	適格引当金不足額	—	—	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	
15	前払年金費用の額	10,769	10,119	⑫
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されているものを除く。）の額	0	0	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	—	—	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	—	—	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	—	—	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	—	—	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	
27	その他Tier1資本不足額	—	—	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額（ロ）	11,170	10,889	
普通株式等Tier1資本				
29	普通株式等Tier1資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	269,178	248,790	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）					
国際様式の 該 当 番 号		項 目	イ	ロ	ハ
			2025年9月末	2024年9月末	別紙様式 第十三号（CC2） の参照項目
その他Tier1資本に係る基礎項目					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	—	—	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
36		その他Tier1資本に係る基礎項目の額（二）	—	—	
その他Tier1資本に係る調整項目					
37		自己保有その他Tier1資本調達手段の額	—	—	
38		意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
39		少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
40		その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	—	—	
42		Tier2資本不足額	—	—	
43		その他Tier1資本に係る調整項目の額（ホ）	—	—	
その他Tier1資本					
44		その他Tier1資本の額（（二）－（ホ））（ヘ）	—	—	
Tier1資本					
45		Tier1資本の額（（ハ）＋（ヘ））（ト）	269,178	248,790	
Tier2資本に係る基礎項目					
46		Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	—	—	
		Tier2資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—	
		Tier2資本調達手段に係る負債の額	30,000	40,000	⑮
		特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	—	—	
50		一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	8,780	8,692	
50a		うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	8,780	8,692	⑭
50b		うち、適格引当金Tier2算入額	—	—	
51		Tier2資本に係る基礎項目の額（チ）	38,780	48,692	
Tier2資本に係る調整項目					
52		自己保有Tier2資本調達手段の額	—	—	
53		意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
54		少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
55		その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	—	—	
57		Tier2資本に係る調整項目の額（リ）	—	—	
Tier2資本					
58		Tier2資本の額（（チ）－（リ））（ヌ）	38,780	48,692	
総自己資本					
59		総自己資本の額（（ト）＋（ヌ））（ル）	307,958	297,482	

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）				
国際様式の 該 当 番 号	項 目	イ	ロ	ハ
		2025年9月末	2024年9月末	別紙様式 第十三号（CC2） の参照項目
リスク・アセット				
60	リスク・アセットの額の合計額 (ヲ)	2,619,979	2,375,581	
自己資本比率及び資本バッファー				
61	普通株式等Tier1比率（(ハ)／(ヲ)）	10.27%	10.47%	
62	Tier1比率（(ト)／(ヲ)）	10.27%	10.47%	
63	総自己資本比率（(ル)／(ヲ)）	11.75%	12.52%	
調整項目に係る参考事項				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	10,739	10,474	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	—	—	
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項				
76	一般貸倒引当金の額	8,780	8,692	⑭
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	32,093	28,637	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	—	—	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	—	—	

■ 中間連結貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明

(単位：百万円)

C C 2：中間連結貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係				
項 目	イ		ハ	ニ
	公表中間連結貸借対照表		別紙様式第五号を 参照する番号又は記号	付表参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
(資産の部)				
現金預け金	884,357	784,771		
コールローン及び買入手形	1,339	999		
商品有価証券	3	2		6-a
有価証券	975,329	874,071		2-b,6-b
貸出金	4,108,324	3,846,240		6-c
外国為替	3,721	4,042		
リース債権及びリース投資資産	43,713	40,888		
その他資産	27,515	25,839		6-d
有形固定資産	41,475	40,786		
無形固定資産	735	1,360	⑪	2-a
退職給付に係る資産	21,162	23,428	⑫	3
繰延税金資産	845	788	⑬	4-a
支払承諾見返	10,198	9,803		
貸倒引当金	△17,636	△16,788	⑭	
資産の部合計	6,101,086	5,636,232		
(負債の部)				
預金	5,290,299	4,693,973		
譲渡性預金	33,000	182,732		
コールマネー及び売渡手形	209	—		
債券貸借取引受入担保金	—	—		
借入金	368,675	368,318	⑮	8-a
外国為替	471	85		
社債	10,000	20,000	⑮	8-b
信託勘定借	1,498	1,621		
その他負債	56,791	52,588		6-e
賞与引当金	1,141	1,108		
役員賞与引当金	8	7		
退職給付に係る負債	259	258		
役員退職慰労引当金	31	30		
睡眠預金払戻損失引当金	26	81		
偶発損失引当金	1,325	1,516		
利息返還損失引当金	24	25		
繰延税金負債	26,915	22,607		4-b
再評価に係る繰延税金負債	2,783	2,766		4-c
支払承諾	10,198	9,803		
負債の部合計	5,803,660	5,357,524		
(純資産の部)				
資本金	25,090	25,090	①	1-a
資本剰余金	21,249	21,241	②	1-b
利益剰余金	180,147	168,069	③	1-c
自己株式	△385	△425	④	1-d
株主資本合計	226,101	213,976		
その他有価証券評価差額金	62,622	53,025		
繰延ヘッジ損益	—	—	⑤	5
土地再評価差額金	3,647	3,867		
退職給付に係る調整累計額	5,053	7,839		
その他の包括利益累計額合計	71,323	64,731	⑥	
新株予約権	—	—	⑦	
非支配株主持分	—	—	⑧	7
純資産の部合計	297,425	278,708		
負債及び純資産の部合計	6,101,086	5,636,232		

(注記事項)

規制上の連結の範囲と会計上の連結の範囲は同一であるため、「別紙様式第14号：口欄（規制上の連結範囲に基づく中間連結貸借対照表）」の記載を省略しております。

■ 中間連結貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明 (付表)

1. 株主資本

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
資本金	25,090	25,090		1-a
資本剰余金	21,249	21,241		1-b
利益剰余金	180,147	168,069		1-c
自己株式	△385	△425		1-d
株主資本合計	226,101	213,976		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
普通株式等Tier1資本に係る額	226,101	213,976	普通株式に係る株主資本（社外流出予定額調整前）	
うち、資本金及び資本剰余金の額	46,340	46,332		1a
うち、利益剰余金の額	180,147	168,069		2
うち、自己株式の額（△）	385	425		1c
うち、上記以外に該当するものの額	—	—		
その他Tier1資本調達手段に係る額	—	—	実質破綻時損失吸収条項のある優先株式に係る株主資本	31a

2. 無形固定資産

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
無形固定資産	735	1,360		2-a
有価証券	975,329	874,071		2-b
うち持分法適用会社に係るのれん相当額	—	—	持分法適用会社に係るのれん相当額	

上記に係る税効果	236	425	
----------	-----	-----	--

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
無形固定資産 のれんに係るもの	—	—		8
無形固定資産 その他の無形固定資産	499	934	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外（ソフトウェア等）	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツ	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		24
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		74

3. 退職給付に係る資産

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
退職給付に係る資産	21,162	23,428		3
上記に係る税効果	6,666	7,169		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
退職給付に係る資産の額	14,496	16,259		15

4. 繰延税金資産

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延税金資産	845	788		4-a
繰延税金負債	26,915	22,607		4-b
再評価に係る繰延税金負債	2,783	2,766		4-c
その他の無形資産の税効果勘案分	236	425		
退職給付に係る資産の税効果勘案分	6,666	7,169		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）	—	—	資産負債相殺処理のため、中間貸借対照表計上額とは一致せず	10
一時差異に係る繰延税金資産	—	—	資産負債相殺処理のため、中間貸借対照表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。） に係る調整項目不算入額	—	—		75

5. 繰延ヘッジ損益

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延ヘッジ損益	—	—		5

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延ヘッジ損益の額	—	—	ヘッジ対象に係る時価評価差額が「その他の包括利益累計額」として計上されているものを除いたもの	11

6. 金融機関向け出資等の対象科目

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
商品有価証券	3	2		6-a
有価証券	975,329	874,071		6-b
貸出金	4,108,324	3,846,240	劣後ローン等を含む	6-c
その他資産	27,515	25,839	金融派生商品、出資金等を含む	6-d
その他負債	56,791	52,588	金融派生商品等を含む	6-e

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
自己保有資本調達手段の額	0	0		
普通株式等Tier1相当額	0	0		16
その他Tier1相当額	—	—		37
Tier2相当額	—	—		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本調達手段の額	—	—		
普通株式等Tier1相当額	—	—		17
その他Tier1相当額	—	—		38
Tier2相当額	—	—		53
少数出資金融機関等の資本調達手段の額	10,766	10,501		
普通株式等Tier1相当額	—	—		18
その他Tier1相当額	—	—		39
Tier2相当額	—	—		54
少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	10,766	10,501		72
その他金融機関等（10%超出資）	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		23
その他Tier1相当額	—	—		40
Tier2相当額	—	—		55
その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	—	—		73

7. 非支配株主持分

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
非支配株主持分	—	—		7

(2) 自己資本の構成 (単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
普通株式等Tier1資本に係る額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分） 勘案後	5
特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分） 勘案後	30-31ab-32
その他Tier1資本に係る額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分） 勘案後	34
特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分） 勘案後	46
Tier2資本に係る額	—	—	算入可能額（調整後非支配株主持分） 勘案後	48

8. その他資本調達

(1) 中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

中間連結貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
借入金	368,675	368,318		8-a
社債	10,000	20,000		8-b

(2) 自己資本の構成 (単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	—	—		32
Tier2資本調達手段に係る負債の額	30,000	40,000		46

■ 中間貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明

(単位：百万円)

C C 2：中間貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係				
項 目	イ		ハ	ニ
	公表中間貸借対照表		別紙様式第一号を 参照する番号又は記号	付表参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
(資産の部)				
現金預け金	883,905	784,588		
コールローン	1,339	999		
商品有価証券	3	2		6-a
有価証券	979,188	877,942		6-b
貸出金	4,125,797	3,860,236		6-c
外国為替	3,721	4,042		
その他資産	11,415	10,684		6-d
金融派生商品	112	2,427		6-e
有形固定資産	40,093	39,453		
無形固定資産	584	1,109	⑪	2
前払年金費用	15,721	14,581	⑫	3
繰延税金資産	—	—	⑬	4-a
支払承諾見返	10,194	9,796		
貸倒引当金	△16,211	△15,525	⑭	
資産の部合計	6,055,754	5,587,912		
(負債の部)				
預金	5,298,105	4,700,147		
譲渡性預金	33,000	182,732		
コールマネー	209	—		
債券貸借取引受入担保金	—	—		
借入金	350,074	350,548	⑮	7-a
外国為替	471	85		
社債	10,000	20,000	⑮	7-b
信託勘定借	1,498	1,621		
その他負債	37,733	34,570		6-f
金融派生商品	2,301	244		6-g
賞与引当金	997	967		
退職給付引当金	1,933	2,449		
睡眠預金払戻損失引当金	26	81		
偶発損失引当金	1,325	1,516		
繰延税金負債	24,590	19,146		4-b
再評価に係る繰延税金負債	2,783	2,766		4-c
支払承諾	10,194	9,796		
負債の部合計	5,772,945	5,326,429		
(純資産の部)				
資本金	25,090	25,090	①	1-a
資本剰余金	18,653	18,645	②	1-b
利益剰余金	173,212	161,306	③	1-c
自己株式	△385	△425	④	1-d
株主資本合計	216,570	204,617		
その他有価証券評価差額金	62,591	52,998		
繰延ヘッジ損益	—	—	⑤	5
土地再評価差額金	3,647	3,867		
評価・換算差額等合計	66,238	56,865	⑥	
新株予約権	—	—	⑦	
純資産の部合計	282,809	261,483		
負債及び純資産の部合計	6,055,754	5,587,912		

■ 中間貸借対照表の科目が「自己資本の構成に関する開示項目」のいずれに相当するかについての説明（付表）

1. 株主資本

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
資本金	25,090	25,090		1-a
資本剰余金	18,653	18,645		1-b
利益剰余金	173,212	161,306		1-c
自己株式	△385	△425		1-d
株主資本合計	216,570	204,617		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
普通株式等Tier1資本に係る額	216,570	204,617	普通株式に係る株主資本（社外流出予定額調整前）	
うち、資本金及び資本剰余金の額	43,744	43,736		1a
うち、利益剰余金の額	173,212	161,306		2
うち、自己株式の額（△）	385	425		1c
うち、上記以外に該当するものの額	—	—		
その他Tier1資本調達手段に係る額	—	—	実質破綻時損失吸収条項のある優先株式に係る株主資本	31a

2. 無形固定資産

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
無形固定資産	584	1,109		2
上記に係る税効果	182	339		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
無形固定資産 その他の無形固定資産	401	770	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外（ソフトウェア等）	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツ	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		24
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		74

3. 前払年金費用

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
前払年金費用	15,721	14,581		3
上記に係る税効果	4,952	4,462		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
前払年金費用の額	10,769	10,119		15

4. 繰延税金資産

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延税金資産	—	—		4-a
繰延税金負債	24,590	19,146		4-b
再評価に係る繰延税金負債	2,783	2,766		4-c
その他の無形資産の税効果勘案分	182	339		
前払年金費用の税効果勘案分	4,952	4,462		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）	—	—	資産負債相殺処理のため、中間貸借対照表計上額とは一致せず	10
一時差異に係る繰延税金資産	—	—	資産負債相殺処理のため、中間貸借対照表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	—	—		75

5. 繰延ヘッジ損益

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延ヘッジ損益	—	—		5

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の 該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
繰延ヘッジ損益の額	—	—	ヘッジ対象に係る時価評価差額が「評価・換算差額等」として計上されているものを除いたもの	11

6. 金融機関向け出資等の対象科目

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
商品有価証券	3	2		6-a
有価証券	979,188	877,942		6-b
貸出金	4,125,797	3,860,236	劣後ローン等を含む	6-c
その他資産	11,415	10,684	出資金等を含む	6-d
うち金融派生商品	112	2,427	金融派生商品（資産）はその他資産の内訳科目	6-e
その他負債	37,733	34,570		6-f
うち金融派生商品	2,301	244	金融派生商品（負債）はその他負債の内訳科目	6-g

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
自己保有資本調達手段の額	0	0		
普通株式等Tier1相当額	0	0		16
その他Tier1相当額	—	—		37
Tier2相当額	—	—		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本調達手段の額	—	—		
普通株式等Tier1相当額	—	—		17
その他Tier1相当額	—	—		38
Tier2相当額	—	—		53
少数出資金融機関等の資本調達手段の額	10,739	10,474		
普通株式等Tier1相当額	—	—		18
その他Tier1相当額	—	—		39
Tier2相当額	—	—		54
少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	10,739	10,474		72
その他金融機関等（10%超出資）	—	—		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—		23
その他Tier1相当額	—	—		40
Tier2相当額	—	—		55
その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	—	—		73

7. その他資本調達

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

中間貸借対照表科目	金額	金額	備考	参照番号
	2025年9月末	2024年9月末		
借入金	350,074	350,548		7-a
社債	10,000	20,000		7-b

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	金額	金額	備考	国際様式の該当番号
	2025年9月末	2024年9月末		
その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	—	—		32
Tier2資本調達手段に係る負債の額	30,000	40,000		46

自己資本調達手段に関する契約内容の概要及び詳細

インターネット上の当行のウェブサイト(<https://www.meigin.com/>)に掲載しています。

定性的な開示事項

定性的項目は原則、2024年度中間期と2025年度中間期を掲載しております。ただし、二年度で同じ内容の項目は、二年度分の掲載を省略しております。

■ 連結の範囲に関する次に掲げる事項

- イ 自己資本比率告示第3条の規定により連結自己資本比率を算出する対象となる会社の集団（以下この条において「連結グループ」という。）に属する会社と連結財務諸表規則第5条に基づき連結の範囲（以下「会計連結範囲」という。）に含まれる会社との相違点及び当該相違点の生じた原因

相違点はありません。

- ロ 連結グループのうち、連結子会社の数並びに主要な連結子会社の名称及び主要な業務の内容

連結グループに属する連結子会社は以下の6社です。

名 称	主な業務の内容
(株)名古屋リース	総合ファイナンスリース業
名古屋ビジネスサービス(株)	伝票類の保管業務
(株)名古屋カード	クレジットカード業、信用保証業務
(株)名古屋エム・シーカード	クレジットカード業
(株)名古屋キャピタルパートナーズ	投資事業有限責任組合の組成・管理業務
(株)ナイス	医療システム事業・ICT支援事業

- ハ 自己資本比率告示第9条の規定が適用される金融業務を営む関連法人等の数並びに当該金融業務を営む関連法人等の名称、中間貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容

該当ありません。

- ニ 連結グループに属する会社であって会計連結範囲に含まれないもの及び連結グループに属しない会社であって会計連結範囲に含まれるものの名称、中間貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容

該当ありません。

- ホ 連結グループ内の資金及び自己資本の移動に係る制限等の概要

連結子会社において債務超過会社はなく、自己資本は充実していると認識しております。また、連結グループ内において自己資本にかかる支援は行っておりません。

定量的な開示事項

■ その他金融機関等（自己資本比率告示第8条第8項第1号に規定するその他金融機関等をいう。）であって銀行の子法人等であるもののうち、自己資本比率規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

該当ありません。

■ OV1：リスク・アセットの概要

連結

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要					
国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		2025年9月末	2024年9月末	2025年9月末	2024年9月末
1	信用リスク	2,420,644	2,200,656	193,651	176,052
2	うち、標準的手法適用分	2,361,679	2,142,655	188,934	171,412
3	うち、基礎的内部格付手法適用分	—	—	—	—
4	うち、スロットティング・クライテリア適用分	—	—	—	—
5	うち、先進的内部格付手法適用分	—	—	—	—
	うち、重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	—	—	—	—
	その他	58,965	58,000	4,717	4,640
6	カウンターパーティ信用リスク	8,832	6,295	706	503
7	うち、S A－C C R適用分	8,832	6,295	706	503
8	うち、期待エクスポージャー方式適用分	—	—	—	—
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
9	その他	—	—	—	—
10	C V Aリスク	49,823	24,463	3,985	1,957
	うち、S A－C V A適用分	—	—	—	—
	うち、完全なB A－C V A適用分	—	—	—	—
	うち、限定的なB A－C V A適用分	49,823	24,463	3,985	1,957
11	経過措置により適用されるマーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	—	—	—	—
12	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算(ルック・スルー方式)	75,031	73,534	6,002	5,882
13	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算(マンドート方式)	18,890	—	1,511	—
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算(蓋然性方式250%)	—	—	—	—
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算(蓋然性方式400%)	—	—	—	—
14	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算(フォールバック方式1250%)	—	—	—	—
15	未決済取引	—	—	—	—
16	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	24,658	19,589	1,972	1,567
17	うち、内部格付手法準拠方式適用分	—	—	—	—
18	うち、外部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分	24,658	19,589	1,972	1,567
19	うち、標準的手法準拠方式適用分	—	—	—	—
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	—	—	—	—
20	マーケット・リスク	—	—	—	—
21	うち、標準的方式適用分	—	—	—	—
22	うち、内部モデル方式適用分	—	—	—	—
	うち、簡易的方式適用分	—	—	—	—
23	勘定間の振替分	—	—	—	—
24	オペレーショナル・リスク	64,190	102,488	5,135	8,199
25	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	—	—	—	—
26	フロア調整	—	—	—	—
27	合計	2,662,071	2,427,028	212,965	194,162

OV1：リスク・アセットの概要

単体

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要					
国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		2025年9月末	2024年9月末	2025年9月末	2024年9月末
1	信用リスク	2,390,251	2,167,137	191,220	173,370
2	うち、標準的手法適用分	2,346,861	2,124,585	187,748	169,966
3	うち、基礎的内部格付手法適用分	—	—	—	—
4	うち、スロットティング・クライテリア適用分	—	—	—	—
5	うち、先進的内部格付手法適用分	—	—	—	—
	うち、重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	—	—	—	—
	その他	43,389	42,552	3,471	3,404
6	カウンターパーティ信用リスク	8,832	6,295	706	503
7	うち、SA-CCR適用分	8,832	6,295	706	503
8	うち、期待エクスポージャー方式適用分	—	—	—	—
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
9	その他	—	—	—	—
10	CVAリスク	49,823	24,463	3,985	1,957
	うち、SA-CVA適用分	—	—	—	—
	うち、完全なBA-CVA適用分	—	—	—	—
	うち、限定的なBA-CVA適用分	49,823	24,463	3,985	1,957
11	経過措置により適用されるマーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	—	—	—	—
12	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（レック・スルー方式）	75,008	73,504	6,000	5,880
13	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マંデート方式）	18,890	—	1,511	—
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	—	—	—	—
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	—	—	—	—
14	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	—	—	—	—
15	未決済取引	—	—	—	—
16	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	24,658	19,589	1,972	1,567
17	うち、内部格付手法準拠方式適用分	—	—	—	—
18	うち、外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分	24,658	19,589	1,972	1,567
19	うち、標準的手法準拠方式適用分	—	—	—	—
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	—	—	—	—
20	マーケット・リスク	—	—	—	—
21	うち、標準的方式適用分	—	—	—	—
22	うち、内部モデル方式適用分	—	—	—	—
	うち、簡易的方式適用分	—	—	—	—
23	勘定間の振替分	—	—	—	—
24	オペレーショナル・リスク	52,514	84,591	4,201	6,767
25	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	—	—	—	—
26	フロア調整	—	—	—	—
27	合計	2,619,979	2,375,581	209,598	190,046

■ C R 1：資産の信用の質

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C R 1：資産の信用の質					
項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
	オン・バランスシートの資産				
1	貸出金	41,520	3,942,906	16,870	3,967,556
2	有価証券（うち負債性のもの）	77	736,055	—	736,132
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	322	906,005	325	906,003
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	41,920	5,584,967	17,195	5,609,692
	オフ・バランスシートの資産				
5	支払承諾等	79	10,118	22	10,175
6	コミットメント等	113	59,015	—	59,128
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	192	69,134	22	69,304
	合計				
8	合計（4+7）	42,113	5,654,102	17,218	5,678,996

(注) 1. その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）には、預け金、コールローン、外国為替等を計上しております。
2. 引当金については、債権単位では算出していないため残高等により投分して計上しております。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C R 1：資産の信用の質					
項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
	オン・バランスシートの資産				
1	貸出金	42,596	3,704,966	16,374	3,731,188
2	有価証券（うち負債性のもの）	3	641,982	—	641,986
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	591	796,181	390	796,383
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	43,192	5,143,131	16,765	5,169,558
	オフ・バランスシートの資産				
5	支払承諾等	61	9,742	26	9,777
6	コミットメント等	24	55,837	—	55,862
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	86	65,579	26	65,639
	合計				
8	合計（4+7）	43,278	5,208,711	16,791	5,235,198

(注) 1. その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）には、預け金、コールローン、外国為替等を計上しております。
2. 引当金については、債権単位では算出していないため残高等により投分して計上しております。

■ C R 2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C R 2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動			額
項番			
1	前事業年度末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高		42,522
2	貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の 当中間期中の要因別の変動額	デフォルトした額	4,418
3		非デフォルト状態へ復帰した額	3,142
4		償却された額	475
5		その他の変動額	△1,402
6	当中間期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）		41,920

(注) その他の変動額の主な発生要因は、デフォルト状態にあるエクスポージャーの回収等による残高の減少であります。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C R 2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動			額
項番			
1	前事業年度末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高		46,557
2	貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の 当中間期中の要因別の変動額	デフォルトした額	3,740
3		非デフォルト状態へ復帰した額	5,218
4		償却された額	298
5		その他の変動額	△1,589
6	当中間期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）		43,192

(注) その他の変動額の主な発生要因は、デフォルト状態にあるエクスポージャーの回収等による残高の減少であります。

■ C R 3 : 信用リスク削減手法

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C R 3 : 信用リスク削減手法						
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		非保全 エクスポージャー	保全された エクスポージャー	担保で保全された エクスポージャー	保証で保全された エクスポージャー	クレジット・デリ バティブで保全さ れたエクスポー ジャー
1	貸出金	3,683,035	284,520	43,324	256,159	—
2	有価証券（負債性のもの）	656,021	80,111	—	80,111	—
3	その他オン・バランスシートの資産 （負債性のもの）	906,003	0	—	10	—
4	合計（1+2+3）	5,245,060	364,631	43,324	336,281	—
5	うちデフォルトしたもの	37,977	3,942	645	903	—

(注) 1. その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）には、預け金、コールローン、外国為替等を計上しております。
2. 引当金については、債権単位では算出していないため残高等により按分して計上しております。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C R 3 : 信用リスク削減手法						
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		非保全 エクスポージャー	保全された エクスポージャー	担保で保全された エクスポージャー	保証で保全された エクスポージャー	クレジット・デリ バティブで保全さ れたエクスポー ジャー
1	貸出金	3,466,476	264,712	37,293	243,489	—
2	有価証券（負債性のもの）	614,771	27,214	—	27,214	—
3	その他オン・バランスシートの資産 （負債性のもの）	796,381	2	2	35	—
4	合計（1+2+3）	4,877,629	291,928	37,295	270,739	—
5	うちデフォルトしたもの	40,006	3,185	512	943	—

(注) 1. その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）には、預け金、コールローン、外国為替等を計上しております。
2. 引当金については、債権単位では算出していないため残高等により按分して計上しております。

■ C R 4 : 標準的手法－信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

(2025年9月末)

(単位：百万円、%)

C R 4 : 標準的手法－信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果							
項番	資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
1a	日本国政府及び日本銀行向け	1,182,119	—	1,182,119	—	—	—
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	108,532	—	108,532	—	600	0.55%
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—
2a	我が国の地方公共団体向け	332,651	—	332,651	—	—	—
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—
2c	地方公共団体金融機構向け	18,993	—	18,993	—	1,127	5.94%
2d	我が国の政府関係機関向け	81,123	27	81,123	2	3,355	4.14%
2e	地方三公社向け	855	—	855	—	—	—
3	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	68,455	2,903	68,455	363	18,454	26.82%
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	40,260	2,900	40,260	360	11,362	27.97%
5	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	1,421,394	59,396	1,365,841	21,174	914,711	65.95%
	うち、特定貸付債権向け	20,697	220	20,697	88	18,245	87.78%
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	36,468	1,206	36,468	482	46,188	125.00%
7b	株式等	175,064	—	175,064	—	227,583	130.00%
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	415,758	5,600	391,045	828	281,884	71.93%
	うち、トラザクター向け	—	569	—	54	17	32.07%
9	不動産関連向け	1,409,133	—	1,405,793	—	797,244	56.71%
	うち、自己居住用不動産等向け	1,042,104	—	1,041,195	—	487,878	46.86%
	うち、賃貸用不動産向け	302,772	—	301,357	—	244,661	81.19%
	うち、事業用不動産関連	63,666	—	62,660	—	64,357	102.71%
	うち、その他不動産関連	589	—	578	—	347	60.00%
	うち、ADC向け	—	—	—	—	—	—
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	29,526	192	28,796	93	40,235	139.27%
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	5,459	—	5,458	—	5,117	93.74%
11a	現金	31,060	—	31,060	—	—	—
11b	取立未済手形	—	—	—	—	—	—
	信用保証協会等による保証付	509,949	—	509,949	—	25,176	4.94%
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—	—	—
12	合計	5,826,547	69,327	5,742,211	22,945	2,361,679	40.96%

(2024年9月末)

(単位：百万円、%)

C R 4：標準的手法—信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果								
項番			イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
			CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー		CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー		信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
	資産クラス	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額			
1a	日本国政府及び日本銀行向け		964,860	—	964,860	—	—	—
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け		100,294	—	100,294	—	600	0.60%
1c	国際決済銀行等向け		—	—	—	—	—	—
2a	我が国の地方公共団体向け		329,018	—	329,018	—	—	—
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け		—	—	—	—	—	—
2c	地方公共団体金融機構向け		18,011	—	18,011	—	1,793	9.96%
2d	我が国の政府関係機関向け		88,619	28	88,619	2	6,533	7.37%
2e	地方三公社向け		875	—	875	—	—	—
3	国際開発銀行向け		—	—	—	—	—	—
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け		65,892	2,311	65,892	311	18,146	27.41%
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	36,849	2,300	36,849	300	10,975	29.54%	
5	カバード・ボンド向け		—	—	—	—	—	—
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）		954,335	48,162	929,402	14,711	572,117	60.60%
	うち、特定貸付債権向け	28,011	2,875	28,011	1,150	28,059	96.22%	
7a	劣後債権及びその他資本性証券等		26,169	1,418	26,169	567	26,736	100.00%
7b	株式等		159,961	—	159,961	—	159,961	100.00%
8	中堅中小企業等向け及び個人向け		727,413	13,630	680,262	5,516	537,548	78.39%
	うち、トラザクター向け	—	654	—	62	20	33.21%	
9	不動産関連向け		1,346,826	29	1,344,394	29	750,940	55.86%
	うち、自己居住用不動産等向け	1,008,358	—	1,007,528	—	466,816	46.33%	
	うち、賃貸用不動産向け	283,012	—	282,040	—	227,171	80.55%	
	うち、事業用不動産関連	54,763	29	54,143	29	56,542	104.38%	
	うち、その他不動産関連	691	—	682	—	409	60.00%	
	うち、ADC向け	—	—	—	—	—	—	
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）		29,773	86	29,189	37	41,117	140.69%
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞		6,126	—	6,126	—	5,712	93.24%
11a	現金		37,267	—	37,267	—	—	—
11b	取立未済手形		—	—	—	—	—	—
	信用保証協会等による保証付		521,245	—	521,245	—	21,448	4.11%
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付		—	—	—	—	—	—
12	合計		5,376,690	65,666	5,301,591	21,176	2,142,655	40.25%

■ C R 5 a : 標準的手法－資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C R 5 a : 標準的手法－資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー											
	リスク・ウェイト 資産クラス	信用リスク・エクスポージャーの額（C C F・信用リスク削減手法適用後）									
		0%	20%	50%	100%	150%	その他	合計			
1a	日本国政府及び日本銀行向け	1,182,119	—	—	—	—	—	1,182,119			
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	105,532	—	—	3,000	—	—	108,532			
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—	—			
		0%	10%	20%	50%	100%	150%	その他	合計		
2a	我が国の地方公共団体向け	332,651	—	—	—	—	—	—	332,651		
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
2c	地方公共団体金融機構向け	—	15,992	3,001	—	—	—	—	18,993		
2d	我が国の政府関係機関向け	—	78,038	3,088	—	—	—	—	81,126		
2e	地方三公社向け	—	—	855	—	—	—	—	855		
3		0%	20%	30%	50%	100%	150%	その他	合計		
	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
4		20%	30%	40%	50%	75%	100%	150%	その他	合計	
	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	24,569	42,788	260	1,200	—	—	—	—	68,818	
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	8,894	31,266	260	200	—	—	—	—	40,620	
5		10%	15%	20%	25%	35%	50%	100%	その他	合計	
	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6		20%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	364,472	160,748	20,113	—	342,914	497,819	946	—	—	1,387,016
	うち、特定貸付債権向け	—	1,594	8,109	—	—	10,135	946	—	—	20,785
7a		100%	150%	250%	400%	その他	合計				
	劣後債権及びその他資本性証券等	—	36,951	—	—	—	—	—	—	36,951	
7b	株式等	—	—	175,064	—	—	—	—	—	175,064	
8		45%	75%	100%	その他	合計					
	中堅中小企業等向け及び個人向け	54	389,454	2,365	—	—	—	—	391,874		
	うち、トランザクター向け	54	—	—	—	—	—	—	54		
9a		20%	25%	30%	40%	50%	70%	75%	その他	合計	
	不動産関連向け うち、自己居住用不動産等向け	89,691	46,986	138,588	94,630	107,573	396,915	2,668	164,141	1,041,195	
		20%	31.25%	37.50%	50%	62.50%			その他	合計	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	—	—	—	—	—			—	—	
9b		30%	35%	45%	60%	75%	105%	150%	その他	合計	
	不動産関連向け うち、賃貸用不動産向け	27,288	17,100	48,966	25,017	26,710	136,446	19,826	—	301,357	
		30%	43.75%	56.25%	75%	93.75%			その他	合計	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	385	295	570	673	1,124			—	3,049	

(単位：百万円)

		70%	90%	110%	150%	その他	合計
9c	不動産関連向け うち、事業用不動産関連	9,188	8,404	43,177	1,890	—	62,660
		70%	112.50%			その他	合計
	うち、抵当権が第二順位 以下で適格要件をみたす もの	299	135			—	435
		60%		その他		合計	
9d	不動産関連向け うち、その他不動産関連	578		—		578	
		60%		その他		合計	
	うち、抵当権が第二順位 以下で適格要件をみたす もの	—		—		—	
		100%		150%		その他	合計
9e	不動産関連向け うち、ADC向け	—		—		—	—
		50%	100%	150%	その他	合計	
10a	延滞等（自己居住用不動産等 向けエクスポージャーを除く。）	157	5,367	23,365	—	28,890	
10b	自己居住用不動産等向けエク スポージャーに係る延滞	—	—	5,458	—	5,458	
		0%	10%	20%	その他	合計	
11a	現金	31,060	—	—	—	31,060	
11b	取立未済手形	—	—	—	—	—	
	信用保証協会等による保証付	258,183	251,766	—	—	509,949	
	株式会社地域経済活性化支援 機構等による 保証付	—	—	—	—	—	

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C R 5 a : 標準的手法－資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー											
	リスク・ウェイト 資産クラス	信用リスク・エクスポージャーの額（C C F・信用リスク削減手法適用後）									
		0%	20%	50%	100%	150%	その他	合計			
1a	日本国政府及び日本銀行向け	964,860	—	—	—	—	—	964,860			
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	97,294	—	—	3,000	—	—	100,294			
1c	国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—	—			
		0%	10%	20%	50%	100%	150%	その他	合計		
2a	我が国の地方公共団体向け	329,018	—	—	—	—	—	—	329,018		
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
2c	地方公共団体金融機構向け	—	15,009	3,001	—	—	—	—	18,011		
2d	我が国の政府関係機関向け	—	88,622	—	—	—	—	—	88,622		
2e	地方三公社向け	—	—	875	—	—	—	—	875		
3		0%	20%	30%	50%	100%	150%	その他	合計		
	国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—		
4		20%	30%	40%	50%	75%	100%	150%	その他	合計	
	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	19,848	44,854	300	1,200	—	—	—	—	66,203	
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	2,393	34,255	300	200	—	—	—	—	37,149	
5		10%	15%	20%	25%	35%	50%	100%	その他	合計	
	カバード・ボンド向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6		20%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	264,870	143,689	22,110	—	316,064	508,245	5,198	—	—	1,260,178
	うち、特定貸付債権向け	—	962	8,723	—	—	14,276	5,198	—	—	29,162
7a		100%	150%	250%	400%	その他	合計				
	劣後債権及びその他資本性証券等	—	26,736	—	—	—	—	26,736			
7b	株式等	—	—	159,961	—	—	—	159,961			
8		45%	75%	100%	その他	合計					
	中堅中小企業等向け及び個人向け	62	367,388	2,264	—	369,714					
	うち、トランザクター向け	62	—	—	—	62					
9a		20%	25%	30%	40%	50%	70%	75%	その他	合計	
	不動産関連向け うち、自己居住用不動産等向け	86,705	45,592	131,342	91,170	109,334	371,571	1,904	169,907	1,007,528	
		20%	31.25%	37.50%	50%	62.50%			その他	合計	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	—	—	—	—	—			—	—	
9b		30%	35%	45%	60%	75%	105%	150%	その他	合計	
	不動産関連向け うち、賃貸用不動産向け	26,211	15,867	45,661	25,263	25,448	126,074	17,513	—	282,040	
		30%	43.75%	56.25%	75%	93.75%			その他	合計	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	564	330	263	854	678			—	2,691	

(単位：百万円)

		70%	90%	110%	150%	その他	合計
9c	不動産関連向け うち、事業用不動産関連	6,322	9,965	34,454	3,429	—	54,172
		70%	112.50%			その他	合計
	うち、抵当権が第二順位 以下で適格要件をみたす もの	43	458			—	502
		60%		その他		合計	
9d	不動産関連向け うち、その他不動産関連	682		—		682	
		60%		その他		合計	
	うち、抵当権が第二順位 以下で適格要件をみたす もの	—		—		—	
		100%		150%		その他	合計
9e	不動産関連向け うち、ADC向け	—		—		—	—
		50%	100%	150%	その他	合計	
10a	延滞等（自己居住用不動産等 向けエクスポージャーを除く。）	110	4,976	24,138	—	29,226	
10b	自己居住用不動産等向けエク スポージャーに係る延滞	—	—	6,126	—	6,126	
		0%	10%	20%	その他	合計	
11a	現金	37,267	—	—	—	37,267	
11b	取立未済手形	—	—	—	—	—	
	信用保証協会等による保証付	306,759	214,486	—	—	521,245	
	株式会社地域経済活性化支援 機構等による 保証付	—	—	—	—	—	

■ C R 5 b : 標準的手法ーリスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとC C F

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C R 5 b : 標準的手法ーリスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとC C F					
項番	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ
		オン・バランスシートの エクスポージャーの額	オフ・バランスシートの エクスポージャーの額	C C F の加重平均値	信用リスク・エクスポ ージャーの額 (C C F ・信用リスク削 減手法適用後)
1	40%未満	3,175,819	6,640	10.04%	3,175,633
2	40%-70%	843,201	8,739	26.70%	844,912
3	75%	453,250	5,377	17.38%	438,497
4	80%	—	—	—	—
5	85%	363,674	8,064	59.82%	342,914
6	90%-100%	549,289	38,885	34.77%	523,404
7	105%-130%	181,676	220	40.00%	180,706
8	150%	82,582	1,399	41.20%	82,033
9	250%	175,064	—	—	175,064
10	400%	—	—	—	—
11	1250%	1,988	—	—	1,988
12	合計	5,826,547	69,327	32.51%	5,765,156

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C R 5 b : 標準的手法ーリスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとC C F					
項番	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ
		オン・バランスシートの エクスポージャーの額	オフ・バランスシートの エクスポージャーの額	C C F の加重平均値	信用リスク・エクスポ ージャーの額 (C C F ・信用リスク削 減手法適用後)
1	40%未満	2,860,204	6,649	10.15%	2,860,040
2	40%-70%	793,130	7,865	27.45%	794,845
3	75%	429,463	5,997	18.99%	417,026
4	80%	—	—	—	—
5	85%	335,925	7,602	60.55%	316,064
6	90%-100%	557,634	34,583	33.00%	534,799
7	105%-130%	166,502	1,470	40.00%	166,186
8	150%	71,843	1,498	39.93%	71,818
9	250%	159,961	—	—	159,961
10	400%	—	—	—	—
11	1250%	2,025	—	—	2,025
12	合計	5,376,690	65,666	32.51%	5,322,767

■ リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	2025年9月末	2024年9月末
ルックスルー方式	70,227	82,428
マンドート方式	4,946	—
蓋然性方式（250%）	—	—
蓋然性方式（400%）	—	—
フォールバック方式	—	—
合計	75,173	82,428

■ C C R 1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C C R 1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		R C	P F E	実効 E P E	規制上のエクスポージャーの算定に使用される α	信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額
1	S A - C C R	17,526	7,021		1.4	34,367	8,832
2	期待エクスポージャー方式			—	—	—	—
3	信用リスク削減手法における簡便手法					—	—
4	信用リスク削減手法における包括的手法					—	—
5	エクスポージャー変動推計モデル					—	—
6	合計						8,832

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C C R 1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		R C	P F E	実効 E P E	規制上のエクスポージャーの算定に使用される α	信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額
1	S A - C C R	8,596	7,676		1.4	22,781	6,295
2	期待エクスポージャー方式			—	—	—	—
3	信用リスク削減手法における簡便手法					—	—
4	信用リスク削減手法における包括的手法					—	—
5	エクスポージャー変動推計モデル					—	—
6	合計						6,295

■ CVA 1：限定的なBA-CVA

(2025年9月末)

(単位：百万円)

CVA 1：限定的なBA-CVA			
項番		イ	ロ
		構成要素の額	BA-CVAによるCVAリスク相当額
1	CVAリスクのうち取引先共通の要素	11,556	
2	CVAリスクのうち取引先固有の要素	2,370	
3	合計		3,985

(2024年9月末)

(単位：百万円)

CVA 1：限定的なBA-CVA			
項番		イ	ロ
		構成要素の額	BA-CVAによるCVAリスク相当額
1	CVAリスクのうち取引先共通の要素	5,703	
2	CVAリスクのうち取引先固有の要素	1,115	
3	合計		1,957

■ CVA 2：完全なBA-CVA

(2025年9月末)

(単位：百万円)

CVA 2：完全なBA-CVA			
項番		イ	
		CVAリスク相当額	
1	K Reduced		—
2	K Hedged		—
3	合計		—

(注) 当行では、完全なBA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

CVA 2：完全なBA-CVA			
項番		イ	
		CVAリスク相当額	
1	K Reduced		—
2	K Hedged		—
3	合計		—

(注) 当行では、完全なBA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

■ CVA3：SA-CVAのリスク・アセットの額と取引相手方の先数

(2025年9月末)

(単位：百万円、先数)

CVA3：SA-CVAのリスク・アセットの額と取引相手方の先数			
項番		イ	ロ
		CVAリスク相当額	取引相手方の先数
1	金利リスク	—	
2	外国為替リスク	—	
3	参照先のクレジット・スプレッド・リスク	—	
4	株式リスク	—	
5	コモディティ・リスク	—	
6	取引相手方のクレジット・スプレッド・リスク	—	
7	合計	—	—

(注) 当行では、SA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

(2024年9月末)

(単位：百万円、先数)

CVA3：SA-CVAのリスク・アセットの額と取引相手方の先数			
項番		イ	ロ
		CVAリスク相当額	取引相手方の先数
1	金利リスク	—	
2	外国為替リスク	—	
3	参照先のクレジット・スプレッド・リスク	—	
4	株式リスク	—	
5	コモディティ・リスク	—	
6	取引相手方のクレジット・スプレッド・リスク	—	
7	合計	—	—

(注) 当行では、SA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

■ CVA4：CVAリスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

(2025年9月末)

(単位：百万円)

CVA4：CVAリスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表		
項番		CVAリスク相当額
1	前期末	—
2	当期末	—
	変動事由の説明	—

(注) 当行では、SA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

CVA4：CVAリスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表		
項番		CVAリスク相当額
1	前期末	—
2	当期末	—
	変動事由の説明	—

(注) 当行では、SA-CVAを用いてCVAリスク相当額を算出しておりません。

■ C C R 3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C C R 3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー																
項番			イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ
			与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）													
	業種	リスク・ウェイト	0%	10%	20%	30%	40%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
1	日本国政府及び日本銀行向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	外国の中央政府及び中央銀行向け		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	国際決済銀行等向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	我が国の地方公共団体向け		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	国際開発銀行向け		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	地方公共団体金融機構向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	我が国の政府関係機関向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	地方三公社向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け		—	—	16,487	17,601	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34,089
11	法人等向け		—	—	—	—	—	—	—	—	118	—	—	—	—	118
12	中小企業等向け及び個人向け		—	—	—	—	—	—	—	158	—	—	—	—	—	158
13	上記以外		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	合計		—	—	16,487	17,601	—	—	—	—	158	118	—	—	—	34,367

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C C R 3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー																
項番			イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ
			与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）													
	業種	リスク・ウェイト	0%	10%	20%	30%	40%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
1	日本国政府及び日本銀行向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	外国の中央政府及び中央銀行向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	国際決済銀行等向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	我が国の地方公共団体向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	国際開発銀行向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	地方公共団体金融機構向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	我が国の政府関係機関向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	地方三公社向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け		—	—	8,176	14,139	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22,316
11	法人等向け		—	—	—	—	—	—	—	—	—	146	—	—	—	146
12	中小企業等向け及び個人向け		—	—	—	—	—	—	—	—	318	—	—	—	—	318
13	上記以外		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	0
14	合計		—	—	8,176	14,139	—	—	—	—	318	146	—	0	—	22,781

■ C C R 5 : 担保の内訳

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C C R 5 : 担保の内訳							
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理 されている	分別管理 されていない	分別管理 されている	分別管理 されていない		
1	現金（国内通貨）	—	—	—	1,747	—	—
2	現金（外国通貨）	—	—	—	—	—	—
3	国内ソブリン債	—	—	—	—	—	—
4	その他ソブリン債	—	—	—	—	—	—
5	政府関係機関債	—	—	—	—	—	—
6	社債	—	—	—	—	—	—
7	株式	—	—	—	—	—	—
8	その他担保	—	—	—	—	—	—
9	合計	—	—	—	1,747	—	—

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C C R 5 : 担保の内訳							
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理 されている	分別管理 されていない	分別管理 されている	分別管理 されていない		
1	現金（国内通貨）	—	1,283	—	—	—	—
2	現金（外国通貨）	—	—	—	—	—	—
3	国内ソブリン債	—	—	—	—	—	—
4	その他ソブリン債	—	—	—	—	—	—
5	政府関係機関債	—	—	—	—	—	—
6	社債	—	—	—	—	—	—
7	株式	—	—	—	—	—	—
8	その他担保	—	—	—	—	—	—
9	合計	—	1,283	—	—	—	—

■ C C R 6：クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C C R 6：クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー			
項番		イ	ロ
		購入したプロテクション	提供したプロテクション
	想定元本		
1	シングルネーム・クレジット・デフォルト・スワップ	—	—
2	インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ	—	—
3	トータル・リターン・スワップ	—	—
4	クレジットオプション	—	—
5	その他のクレジット・デリバティブ	—	—
6	想定元本合計	—	—
	公正価値		
7	プラスの公正価値（資産）	—	—
8	マイナスの公正価値（負債）	—	—

(注) 当行は、クレジット・デリバティブ取引を行っていないため、該当ありません。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

C C R 6：クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー			
項番		イ	ロ
		購入したプロテクション	提供したプロテクション
	想定元本		
1	シングルネーム・クレジット・デフォルト・スワップ	—	—
2	インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ	—	—
3	トータル・リターン・スワップ	—	—
4	クレジットオプション	—	—
5	その他のクレジット・デリバティブ	—	—
6	想定元本合計	—	—
	公正価値		
7	プラスの公正価値（資産）	—	—
8	マイナスの公正価値（負債）	—	—

(注) 当行は、クレジット・デリバティブ取引を行っていないため、該当ありません。

■ C C R 7：期待エクスポージャー方式を用いたカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

当行は、与信相当額の算出にあたり、期待エクスポージャー方式を用いていないため、該当ありません。

■ C C R 8 : 中央清算機関向けエクスポージャー

(2025年9月末)

(単位：百万円)

C C R 8 : 中央清算機関向けエクスポージャー			
項番		イ	ロ
		中央清算機関向け エクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー (合計)		—
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初 証拠金を除く。)	—	—
3	(i) 派生商品取引 (上場以外)	—	—
4	(ii) 派生商品取引 (上場)	—	—
5	(iii) レポ形式の取引	—	—
6	(iv) クロスプロダクト・ネットティングが承認された場合 のネットティング・セット	—	—
7	分別管理されている当初証拠金	—	
8	分別管理されていない当初証拠金	—	—
9	事前拠出された清算基金	—	—
10	未拠出の清算基金	—	—
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー (合計)		—
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当 初証拠金を除く。)	—	—
13	(i) 派生商品取引 (上場以外)	—	—
14	(ii) 派生商品取引 (上場)	—	—
15	(iii) レポ形式の取引	—	—
16	(iv) クロスプロダクト・ネットティングが承認された場合 のネットティング・セット	—	—
17	分別管理されている当初証拠金	—	
18	分別管理されていない当初証拠金	—	—
19	事前拠出された清算基金	—	—
20	未拠出の清算基金	—	—

バーゼルⅢ 第3の柱に基づく開示

(2024年9月末) (単位：百万円)

CCR 8：中央清算機関向けエクスポージャー			
項番		イ	ロ
		中央清算機関向け エクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		—
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー（当初 証拠金を除く。）	—	—
3	（i）派生商品取引（上場以外）	—	—
4	（ii）派生商品取引（上場）	—	—
5	（iii）レポ形式の取引	—	—
6	（iv）クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合 のネットting・セット	—	—
7	分別管理されている当初証拠金	—	
8	分別管理されていない当初証拠金	—	—
9	事前拠出された清算基金	—	—
10	未拠出の清算基金	—	—
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		—
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー（当 初証拠金を除く。）	—	—
13	（i）派生商品取引（上場以外）	—	—
14	（ii）派生商品取引（上場）	—	—
15	（iii）レポ形式の取引	—	—
16	（iv）クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合 のネットting・セット	—	—
17	分別管理されている当初証拠金	—	
18	分別管理されていない当初証拠金	—	—
19	事前拠出された清算基金	—	—
20	未拠出の清算基金	—	—

■ SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

(2025年9月末)

(単位：百万円)

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）										
項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	—	—	—	—	—	—	113,450	—	113,450
2	担保付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	70,411	—	70,411
3	クレジットカード債権	—	—	—	—	—	—	8,268	—	8,268
4	その他リテールに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	34,770	—	34,770
5	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ホールセール（合計）	—	—	—	—	—	—	10,459	—	10,459
7	事業法人向けローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	商業用モーゲージ担保証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	リース債権及び売掛債権	—	—	—	—	—	—	10,459	—	10,459
10	その他のホールセール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2024年9月末)

(単位：百万円)

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）										
項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	—	—	—	—	—	—	93,283	—	93,283
2	担保付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	67,630	—	67,630
3	クレジットカード債権	—	—	—	—	—	—	7,057	—	7,057
4	その他リテールに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	18,595	—	18,595
5	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ホールセール（合計）	—	—	—	—	—	—	5,401	—	5,401
7	事業法人向けローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	商業用モーゲージ担保証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	リース債権及び売掛債権	—	—	—	—	—	—	5,401	—	5,401
10	その他のホールセール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ SEC 2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

(2025年9月末) (単位：百万円)

SEC 2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	担保付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	クレジットカード債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	その他リテールに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ホールセール（合計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	事業法人向けローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	商業用モーゲージ担保証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	リース債権及び売掛債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	その他のホールセール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2024年9月末) (単位：百万円)

SEC 2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	担保付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	クレジットカード債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	その他リテールに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ホールセール（合計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	事業法人向けローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	商業用モーゲージ担保証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	リース債権及び売掛債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	その他のホールセール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	再証券化	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ SEC 3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）

(2025年9月末)

(単位：百万円)

SEC 3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本 (自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合)																
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産 譲渡型 証券化 取引 (小計)							合成型 証券化 取引 (小計)						
				証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア		証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア
	エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）															
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	20%超 50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50%超 100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	100%超 1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	エクスポージャーの額（算出方法別）															
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信用リスク・アセットの額（算出方法別）															
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	所要自己資本の額（算出方法別）															
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2024年9月末)

(単位：百万円)

SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本 (自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合)																
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産 譲渡型 証券化 取引 (小計)							合成型 証券化 取引 (小計)						
				証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア		証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア
	エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）															
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	20%超 50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50%超 100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	100%超 1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	エクスポージャーの額（算出方法別）															
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信用リスク・アセットの額（算出方法別）															
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	所要自己資本の額（算出方法別）															
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ SEC 4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

(2025年9月末)

(単位：百万円)

SEC 4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）																
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産 譲渡型 証券化 取引 (小計)							合成型 証券化 取引 (小計)						
				証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア		証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア
	エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）															
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	123,910	123,910	123,910	113,450	10,459	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	20%超 50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50%超 100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	100%超 1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	エクスポージャーの額（算出方法別）															
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	123,910	123,910	123,910	113,450	10,459	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信用リスク・アセットの額（算出方法別）															
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	24,658	24,658	24,658	22,566	2,091	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	所要自己資本の額（算出方法別）															
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	1,972	1,972	1,972	1,805	167	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2024年9月末) (単位：百万円)

SEC 4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）																
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産 譲渡型 証券化 取引 (小計)							合成型 証券化 取引 (小計)						
				証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア		証券化	裏付け となる リテール	ホール セール	再証券化	シニア	非シニア
	エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）															
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	98,685	98,685	98,685	93,283	5,401	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	20%超 50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50%超 100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	100%超 1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	エクスポージャーの額（算出方法別）															
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	98,685	98,685	98,685	93,283	5,401	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信用リスク・アセットの額（算出方法別）															
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	19,589	19,589	19,589	18,509	1,080	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	所要自己資本の額（算出方法別）															
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	1,567	1,567	1,567	1,480	86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ M R 1 : 標準的方式によるマーケット・リスク相当額

(2025年9月末)

(単位：百万円)

M R 1 : 標準的方式によるマーケット・リスク相当額		マーケット・リスク相当額
項番		
1	一般金利リスク	—
2	株式リスク	—
3	コモディティ・リスク	—
4	外国為替リスク	—
5	信用スプレッド・リスク（非証券化商品）	—
6	信用スプレッド・リスク（証券化商品（非CTP））	—
7	信用スプレッド・リスク（証券化商品（CTP））	—
8	デフォルト・リスク（非証券化商品）	—
9	デフォルト・リスク（証券化商品（非CTP））	—
10	デフォルト・リスク（証券化商品（CTP））	—
11	残余リスク・アドオン	—
	その他	—
12	合計	—

(注) マーケット・リスク相当額は、不算入の特例を採用しているため、該当ありません。

(2024年9月末)

(単位：百万円)

M R 1 : 標準的方式によるマーケット・リスク相当額		マーケット・リスク相当額
項番		
1	一般金利リスク	—
2	株式リスク	—
3	コモディティ・リスク	—
4	外国為替リスク	—
5	信用スプレッド・リスク（非証券化商品）	—
6	信用スプレッド・リスク（証券化商品（非CTP））	—
7	信用スプレッド・リスク（証券化商品（CTP））	—
8	デフォルト・リスク（非証券化商品）	—
9	デフォルト・リスク（証券化商品（非CTP））	—
10	デフォルト・リスク（証券化商品（CTP））	—
11	残余リスク・アドオン	—
	その他	—
12	合計	—

(注) マーケット・リスク相当額は、不算入の特例を採用しているため、該当ありません。

■ I R R B B 1 : 金利リスク

単体

(単位：百万円)

I R R B B 1 : 金利リスク					
項番		イ		ハ	
		△ E V E		△ N I I	
		2025年9月末	2024年9月末	2025年9月末	2024年9月末
1	上方パラレルシフト	8,356	5,622	1,998	1,553
2	下方パラレルシフト	243	7,286	5,278	8,651
3	スティープ化	2,153	1,843		
4	フラット化	1,547	2,982		
5	短期金利上昇	7,061	4,448		
6	短期金利低下	0	0		
7	最大値	8,356	7,286	5,278	8,651
		ホ		ヘ	
		2025年9月末		2024年9月末	
8	T i e r 1 資本の額	269,178		248,790	

連結

(単位：百万円)

I R B B 1：金利リスク					
項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		2025年9月末	2024年9月末	2025年9月末	2024年9月末
1	上方パラレルシフト	8,356	5,622	1,998	1,553
2	下方パラレルシフト	243	7,286	5,278	8,651
3	スティープ化	2,153	1,843		
4	フラット化	1,547	2,982		
5	短期金利上昇	7,061	4,448		
6	短期金利低下	0	0		
7	最大値	8,356	7,286	5,278	8,651
		ホ			
		2025年9月末		2024年9月末	
8	Tier1資本の額	279,970		259,710	

■ C C y B 1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

(2025年9月末)

(単位：百万円、%)

C C y B 1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況				
	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・ バッファー比率の計算に用 いた当該国又は地域に係る 信用リスク・アセットの額 の合計額とデフォルト・リ スクに対するマーケットリ スク相当額の合計額を8パ ーセントで除して得た額と を合算した額	カウンター・シクリカル・ バッファー比率	カウンター・シクリカル・ バッファーの額
オーストラリア	1.00%	2,558		
ベルギー	1.00%	15		
フランス	1.00%	451		
ドイツ	0.75%	388		
ルクセンブルク	0.50%	255		
オランダ	2.00%	2,342		
英国	2.00%	1,079		
小計		7,089		
合計		2,490,406	0.00%	—

(注) 国又は地域に係る信用リスク・アセットの額は、最終リスクベースで判定を行い算出しております。なお、信用リスク・アセットのみなし計算が適用される資産等、複数の資産が裏付資産となるものは、裏付資産の最終リスクでの信用リスク・アセット額に応じて按分して計算しております。

(2024年9月末)

(単位：百万円、%)

C C y B 1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況				
	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・ バッファー比率の計算に用 いた当該国又は地域に係る 信用リスク・アセットの額 の合計額とデフォルト・リ スクに対するマーケットリ スク相当額の合計額を8パ ーセントで除して得た額と を合算した額	カウンター・シクリカル・ バッファー比率	カウンター・シクリカル・ バッファーの額
オーストラリア	1.00%	2,474		
ベルギー	0.50%	22		
フランス	1.00%	448		
ドイツ	0.75%	340		
ルクセンブルク	0.50%	226		
オランダ	2.00%	3,482		
英国	2.00%	703		
小計		7,698		
合計		2,245,566	0.00%	—

(注) 国又は地域に係る信用リスク・アセットの額は、最終リスクベースで判定を行い算出しております。なお、信用リスク・アセットのみなし計算が適用される資産等、複数の資産が裏付資産となるものは、裏付資産の最終リスクでの信用リスク・アセット額に応じて按分して計算しております。

■ OR 1 : オペレーショナル・リスク損失の推移

(2025年9月末)

(単位：百万円、件)

OR 1 : オペレーショナル・リスク損失の推移												
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		当中間 期末	前中間 期末	前々 中間 期末	ハの 前中間 期末	ニの 前中間 期末	ホの 前中間 期末	ヘの 前中間 期末	トの 前中間 期末	チの 前中間 期末	リの 前中間 期末	直近 十年間 の平均
二百万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	30	—	—	—	3	—					6
2	損失の件数	2	—	—	—	1	—					0
3	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—					—
4	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—					—
5	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	30	—	—	—	3	—					6
千円を超える損失を集計したもの												
6	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	24	—	—	—	—	—					4
7	損失の件数	1	—	—	—	—	—					0
8	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—					—
9	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—					—
10	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	24	—	—	—	—	—					4
オペレーショナル・リスク相当額の計測に関する事項												
11	ILMの算出への内部 損失データ利用の有無	有	有	有	有	有	有					—
12	項番11で内部損失デー タを利用していない場 合は、内部損失データ の承認基準充足の有無	—	—	—	—	—	—					—

(注) 1. 当行は、自己資本比率告示則第23条第3項を適用し、2020年4月以降に発生した内部損失データを用いてオペレーショナル・リスク相当額の算出を行っております。
2. 各中間事業年度末を基準とする1年前までの連続した2半期分を表示しております。ただし、ヘ欄は、2020年4月～2020年9月分（半期分）を表示しております。

(2024年9月末)

(単位：百万円、件)

OR 1 : オペレーショナル・リスク損失の推移												
項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		当中間 期末	前中間 期末	前々 中間 期末	ハの 前中間 期末	ニの 前中間 期末	ホの 前中間 期末	ヘの 前中間 期末	トの 前中間 期末	チの 前中間 期末	リの 前中間 期末	直近 十年間 の平均
二百万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千円を超える損失を集計したもの												
6	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	特殊損失の総額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	特殊損失の件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の計測に関する事項												
11	ILMの算出への内部 損失データ利用の有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
12	項番11で内部損失デー タを利用していない場 合は、内部損失データ の承認基準充足の有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

(注) 項番12の内部損失データの承認基準を充足していないため、項番1から項番10までの項は開示しておりません。

■ OR 2 : B I C の構成要素

(2025年9月末)

(単位：百万円)

OR 2 : B I C の構成要素				
項番		イ	ロ	ハ
		当中間期末	前中間期末	前々中間期末
1	I L D C	38,287		
2	資金運用収益	70,542	53,092	49,337
3	資金調達費用	28,518	19,900	21,692
4	金利収益資産	5,748,502	5,282,059	4,904,050
5	受取配当金	4,237	4,006	3,756
6	S C	26,843		
7	役務取引等収益	14,890	13,255	13,041
8	役務取引等費用	1,902	1,562	1,602
9	その他業務収益	13,876	13,291	12,175
10	その他業務費用	10,469	10,073	8,564
11	F C	11,852		
12	特定取引勘定のネット損益 (特定取引等のネット損益)	△ 0	0	0
13	特定取引勘定以外の勘定の ネット損益 (特定取引等以 外の勘定のネット損益)	△ 12,541	△ 15,111	△ 7,904
14	B I	76,983		
15	B I C	9,237		
16	除外特例の対象となる連結子法 人等又は事業部門を含む B I	76,983		
17	除外特例によって除外した B I	—		

(2024年9月末)

(単位：百万円)

OR 2 : B I C の構成要素				
項番		イ	ロ	ハ
		当中間期末	前中間期末	前々中間期末
1	I L D C	34,009		
2	資金運用収益	53,092	49,337	44,002
3	資金調達費用	19,900	21,692	14,069
4	金利収益資産	5,282,059	4,904,050	4,360,904
5	受取配当金	4,006	3,756	3,496
6	S C	25,025		
7	役務取引等収益	13,255	13,041	12,729
8	役務取引等費用	1,562	1,602	1,465
9	その他業務収益	13,291	12,175	10,583
10	その他業務費用	10,073	8,564	7,611
11	F C	9,290		
12	特定取引勘定のネット損益 (特定取引等のネット損益)	0	0	△ 0
13	特定取引勘定以外の勘定の ネット損益 (特定取引等以 外の勘定のネット損益)	△ 15,111	△ 7,904	△ 4,855
14	B I	68,325		
15	B I C	8,199		
16	除外特例の対象となる連結子法 人等又は事業部門を含む B I	68,325		
17	除外特例によって除外した B I	—		

■ O R 3 : オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

(2025年9月末)

(単位：百万円)

O R 3 : オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

項番		
1	B I C	9,237
2	I L M	0.55
3	オペレーショナル・リスク相当額	5,135
4	オペレーショナル・リスク・アセットの額	64,190

(2024年9月末)

(単位：百万円)

O R 3 : オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

項番		
1	B I C	8,199
2	I L M	1.00
3	オペレーショナル・リスク相当額	8,199
4	オペレーショナル・リスク・アセットの額	102,488

■ E N C 1 : 担保資産の状況

(2025年9月末)

(単位：百万円)

E N C 1 : 担保資産の状況

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		担保に供されている資産の額	担保に供されていない資産の額	合計	うち、証券化エクスポージャーの額
1	現金預け金	—	884,357	884,357	—
2	コールローン及び買入手形	—	1,339	1,339	—
3	商品有価証券	—	3	3	—
4	有価証券	98,821	876,508	975,329	—
5	貸出金	471,957	3,636,367	4,108,324	123,897
6	外国為替	—	3,721	3,721	—
7	リース債権及びリース投資資産	—	43,713	43,713	—
8	その他資産	2,359	25,155	27,515	13
9	有形固定資産	—	41,475	41,475	—
10	無形固定資産	—	735	735	—
11	退職給付に係る資産	—	21,162	21,162	—
12	繰延税金資産	—	845	845	—
13	支払承諾見返	—	10,198	10,198	—
14	貸倒引当金	—	△ 17,636	△ 17,636	—
15	合計	573,138	5,527,947	6,101,086	123,910

(2024年9月末)

(単位：百万円)

E N C 1 : 担保資産の状況

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		担保に供されている資産の額	担保に供されていない資産の額	合計	うち、証券化エクスポージャーの額
1	現金預け金	—	784,771	784,771	—
2	コールローン及び買入手形	—	999	999	—
3	商品有価証券	—	2	2	—
4	有価証券	114,082	759,988	874,071	—
5	貸出金	458,237	3,388,002	3,846,240	98,677
6	外国為替	—	4,042	4,042	—
7	リース債権及びリース投資資産	—	40,888	40,888	—
8	その他資産	664	25,174	25,839	7
9	有形固定資産	—	40,786	40,786	—
10	無形固定資産	—	1,360	1,360	—
11	退職給付に係る資産	—	23,428	23,428	—
12	繰延税金資産	—	788	788	—
13	支払承諾見返	—	9,803	9,803	—
14	貸倒引当金	—	△ 16,788	△ 16,788	—
15	合計	572,984	5,063,248	5,636,232	98,685

レバレッジ比率に関する開示事項

1. 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円)

項番 (国際様式 (LR1) の該当番号)	項 目	2025年9月末	2024年9月末
1	連結貸借対照表における総資産の額	6,101,086	5,636,232
2	連結レバレッジ比率の範囲又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	—
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	842,669	737,930
5	顧客資産のうち、連結貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	—
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	—
8	デリバティブ取引等に関する調整額	36,832	21,657
8a	デリバティブ取引等に関する額	36,944	24,085
8b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	112	2,427
9	レポ取引等に関する調整額	—	—
9a	レポ取引等に関する額	—	—
9b	レポ取引等に関する額 (△)	—	—
10	オフ・バランス取引に関する額	23,464	21,721
11	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	—	—
12	その他の調整項目	△ 26,941	△ 26,997
12a	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	14,995	17,194
12b	支払承諾見返勘定の額 (△)	10,198	9,803
12c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
12d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	1,747	—
12e	連結レバレッジ比率の範囲又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
13	総エクスポージャーの額	5,291,772	4,914,683

(単位：百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項 目	2025年9月末	2024年9月末
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	5,248,105	4,886,071
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	1,747	—
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	—
5	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	—	—
6	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	14,995	17,194
7	オン・バランス資産の額 (イ)	5,231,362	4,868,877
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	24,537	12,034
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	12,407	12,050
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	—
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	36,944	24,085
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	—	—
17	代理取引のエクスポージャーの額	—	—
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	—	—

(単位：百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項 目	2025年9月末	2024年9月末
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	69,327	65,666
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	45,862	43,945
22	オフ・バランス取引に関する額 (二)	23,464	21,721
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	279,970	259,710
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	5,291,772	4,914,683
25	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.29%	5.28%
26	適用する所要連結レバレッジ比率又は所要持株レバレッジ比率	3.15%	3.15%
27	適用する所要連結レバレッジ・バッファ率又は所要持株レバレッジ・バッファ率		
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	5,291,772	4,914,683
	日本銀行に対する預け金の額	842,669	737,930
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	6,134,441	5,652,614
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ´))	4.56%	4.59%
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	5,291,772	4,914,683
30a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	6,134,441	5,652,614
31	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	5.29%	5.28%
31a	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	4.56%	4.59%

2. 前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。)

該当ありません。

3. 単体レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円)

項番 (国際様式 (LR1) の該当番号)	項 目	2025年9月末	2024年9月末
1	貸借対照表における総資産の額	6,055,754	5,587,912
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	—
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	842,669	737,930
5	顧客資産のうち、貸借対照表に計上されている金額 (△)	—	—
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	—
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	—
8	デリバティブ取引等に関する調整額	36,832	21,657
8 a	デリバティブ取引等に関する額	36,944	24,085
8 b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	112	2,427
9	レポ取引等に関する調整額	—	—
9 a	レポ取引等に関する額	—	—
9 b	レポ取引等に関する額 (△)	—	—
10	オフ・バランス取引に関する額	24,485	20,983
11	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	—	—
12	その他の調整項目	△ 23,111	△ 20,686
12 a	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	11,170	10,889
12 b	支払承諾見返勘定の額 (△)	10,194	9,796
12 c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
12 d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	1,747	—
13	総エクスポージャーの額	5,251,290	4,871,937

(単位：百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項 目	2025年9月末	2024年9月末
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	5,202,778	4,837,758
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	1,747	—
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	—
5	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	—	—
6	T i e r 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	11,170	10,889
7	オン・バランス資産の額 (イ)	5,189,860	4,826,868
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	24,537	12,034
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	12,407	12,050
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	—
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	36,944	24,085
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	—	—
17	代理取引のエクスポージャーの額	—	—
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	—	—
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	64,569	58,351
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	40,084	37,367
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	24,485	20,983

(単位：百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項 目	2025年9月末	2024年9月末
単体レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	269,178	248,790
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	5,251,290	4,871,937
25	単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.12%	5.10%
26	適用する所要単体レバレッジ比率	3.15%	3.15%
27	適用する所要単体レバレッジ・バッファ率		
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	5,251,290	4,871,937
	日本銀行に対する預け金の額	842,669	737,930
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	6,093,960	5,609,867
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	4.41%	4.43%
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	5,251,290	4,871,937
30 a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	6,093,960	5,609,867
31	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	5.12%	5.10%
31 a	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	4.41%	4.43%

4. 前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。)

該当ありません。

経営の健全性の状況のうち流動性に係る健全性を判断するための基準に係る事項

本資料は、「銀行法施行規則（1982年大蔵省令第10号）第19条の2第1項第5号ホ等の規定に基づき、流動性に係る経営の健全性の状況について金融庁長官が別に定める事項（2015年2月27日付 金融庁告示第7号）」に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

■ 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

定性的項目は原則、2025年度第2四半期を掲載しております。

一 時系列における流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

主に適格流動資産が増加したことなどから、連結流動性カバレッジ比率は前四半期比25.1ポイント上昇の159.0%、単体流動性カバレッジ比率は前四半期比26.7ポイント上昇の163.6%となりました。

また、当行の流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を上回る水準で推移しております。

二 流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

当行の流動性カバレッジ比率は、適格流動資産の合計額が純資金流出額を上回っており、十分な水準と認識しております。

三 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産については、主に円貨建の国債や地方債などの有価証券及び日本銀行への預け金で構成されています。当該流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に、著しい変動はありません。

負債合計額の5%以上を占める通貨については円貨のみであり、算入可能適格流動資産と純資金流出額の間に著しい通貨のミスマッチはありません。

四 その他流動性カバレッジ比率に関する事項

「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。

また、連結流動性カバレッジ比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社が保有する適格流動資産は零、また流動負債は全額資金流出するとみなして算出しております。

■ 安定調達比率に関する定性的開示事項

定性的項目は原則、2025年度第2四半期を掲載しております。

一 時系列における安定調達比率の変動に関する事項

連結安定調達比率は前四半期比0.2ポイント上昇の119.7%、単体安定調達比率は前四半期比0.2ポイント低下の121.3%となりました。

また、当行の安定調達比率は、2021年度第2四半期より算出を開始して以来、規制水準を上回る水準で推移しております。

二 流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たす場合はその事項

相互に関係する資産及び負債には、当行が仲介金融機関として資金を転貸する取引を計上しております。

また、計上した額は、流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たしております。

三 その他安定調達比率に関する事項

当行の安定調達比率は、利用可能安定調達額が所要安定調達額を上回っており、問題ない水準と認識しております。

また、連結安定調達比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社のすべての負債及び資本に係る額の利用可能安定調達算入率を0%、すべての資産に係る額の所要安定調達算入率を100%として算出しております。

■ 連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項 目		2025年度第2四半期		2025年度第1四半期	
適格流動資産 (1)					
1	適格流動資産の合計額	1,330,421		1,198,401	
資金流出額 (2)		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	3,028,931	243,805	3,011,109	242,476
3	うち、安定預金の額	849,730	25,491	843,248	25,297
4	うち、準安定預金の額	2,179,201	218,313	2,167,860	217,178
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,360,696	572,277	1,398,155	626,778
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,273,791	485,372	1,232,930	461,554
8	うち、負債性有価証券の額	86,904	86,904	165,224	165,224
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	806,322	113,309	790,046	106,531
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	46,822	46,822	40,824	40,824
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	759,500	66,487	749,221	65,706
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	44,740	38,975	39,816	36,134
15	偶発事象に係る資金流出額	7,667	174	7,989	168
16	資金流出合計額	968,542		1,012,089	
資金流入額 (3)		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	157,530	86,576	139,997	78,574
19	その他資金流入額	49,309	45,690	43,840	39,101
20	資金流入合計額	206,839	132,267	183,838	117,676
連結流動性カバレッジ比率 (4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額	1,330,421		1,198,401	
22	純資金流出額	836,274		894,413	
23	連結流動性カバレッジ比率	159.0		133.9	
24	平均値計算用データ数	62		62	

■ 単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項 目		2025年度第2四半期		2025年度第1四半期	
適格流動資産 (1)					
1	適格流動資産の合計額	1,330,421		1,198,401	
資金流出額 (2)		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	3,028,931	243,805	3,011,109	242,476
3	うち、安定預金の額	849,730	25,491	843,248	25,297
4	うち、準安定預金の額	2,179,201	218,313	2,167,860	217,178
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,368,288	579,869	1,405,891	634,514
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,281,384	492,964	1,240,666	469,290
8	うち、負債性有価証券の額	86,904	86,904	165,224	165,224
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	804,181	115,593	788,694	109,175
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	46,822	46,822	40,824	40,824
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	757,358	68,770	747,869	68,350
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	16,693	10,928	10,436	6,754
15	偶発事象に係る資金流出額	7,667	174	7,989	168
16	資金流出合計額	950,371		993,090	
資金流入額 (3)		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	162,814	91,861	140,470	79,048
19	その他資金流入額	49,325	45,707	43,858	39,119
20	資金流入合計額	212,140	137,568	184,329	118,167
単体流動性カバレッジ比率 (4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額	1,330,421		1,198,401	
22	純資金流出額	812,803		874,923	
23	単体流動性カバレッジ比率	163.6		136.9	
24	平均値計算用データ数	62		62	

■ 連結安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		2025年度第2四半期					2025年度第1四半期				
		算入率考慮前金額				算入率 考慮 後金額	算入率考慮前金額				算入率 考慮 後金額
		満期なし	6月未満	6月以上 1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上 1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額（1）											
1	資本の額	289,129	－	－	30,000	319,129	275,908	－	－	30,000	305,908
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	289,129	－	－	30,000	319,129	275,908	－	－	30,000	305,908
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
4	個人及び中小企業等からの資金調達	3,030,158	－	－	－	2,769,657	3,039,275	－	－	－	2,778,348
5	うち、安定預金等の額	850,310	－	－	－	807,794	860,012	－	－	－	817,011
6	うち、準安定預金等の額	2,179,847	－	－	－	1,961,863	2,179,262	－	－	－	1,961,336
7	ホールセール資金調達	979,476	1,061,799	241,539	342,461	1,423,540	1,012,737	826,643	207,980	361,178	1,311,537
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	979,476	1,061,799	241,539	342,461	1,423,540	1,012,737	826,643	207,980	361,178	1,311,537
10	相互に関係する資産がある負債	－	－	－	73	－	－	－	－	95	－
11	その他の負債	98,979	26,922	－	442	－	96,710	19,837	－	50	－
12	うち、デリバティブ負債の額				442					50	
13	うち、上記に含まれない負債の額	98,979	26,922	－	－	－	96,710	19,837	－	－	－
14	利用可能安定調達額合計					4,512,327					4,395,794
所要安定調達額（2）											
15	流動資産の額					45,278					48,471
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	1,904	－	－	－	952	1,863	－	－	－	931
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	249,886	461,319	256,424	3,474,231	3,444,118	235,132	445,196	248,547	3,390,133	3,354,451
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	4,655	26,563	13,221	484,320	498,099	4,590	26,668	10,893	466,176	479,215
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額（項番18、19及び22に該当する額を除く。）	4,865	395,490	208,929	1,617,300	1,547,723	2,813	378,636	201,318	1,562,922	1,488,389
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	－	49,142	47,805	666,637	481,788	－	53,671	46,568	662,320	480,628
22	うち、住宅ローン債権	－	26,891	26,818	1,216,391	1,004,450	－	26,614	26,507	1,203,584	994,034
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	－	10,474	10,304	281,687	193,486	－	10,282	10,109	277,865	190,808
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	240,365	12,373	7,455	156,219	393,844	227,728	13,277	9,827	157,449	392,812
25	相互に関係する負債がある資産	－	－	－	73	－	－	－	－	95	－
26	その他の資産等	160,697	27,264	9,647	43,425	239,284	156,609	28,876	7,428	42,902	235,327
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	－				－	－				－
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）				－	－				－	－
29	うち、デリバティブ資産の額				－	－				－	－
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減ずる前）の額				115	115				59	59
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	160,697	27,264	9,647	43,310	239,169	156,609	28,876	7,428	42,843	235,267
32	オフ・バランス取引				763,761	37,960				757,463	37,648
33	所要安定調達額合計					3,767,593					3,676,830
34	連結安定調達比率					119.7%					119.5%

経営の健全性の状況のうち流動性に係る健全性を判断するための基準に係る事項

■ 単体安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		2025年度第2四半期					2025年度第1四半期				
		算入率考慮前金額				算入率 考慮 後金額	算入率考慮前金額				算入率 考慮 後金額
		満期なし	6月未満	6月以上 1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上 1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額（1）											
1	資本の額	289,129	－	－	30,000	319,129	275,908	－	－	30,000	305,908
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	289,129	－	－	30,000	319,129	275,908	－	－	30,000	305,908
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
4	個人及び中小企業等からの資金調達	3,030,158	－	－	－	2,769,657	3,039,275	－	－	－	2,778,348
5	うち、安定預金等の額	850,310	－	－	－	807,794	860,012	－	－	－	817,011
6	うち、準安定預金等の額	2,179,847	－	－	－	1,961,863	2,179,262	－	－	－	1,961,336
7	ホールセール資金調達	986,973	1,062,109	241,539	342,461	1,424,399	1,022,272	826,648	207,985	361,178	1,312,437
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	986,973	1,062,109	241,539	342,461	1,424,399	1,022,272	826,648	207,985	361,178	1,312,437
10	相互に関係する資産がある負債	－	－	－	73	－	－	－	－	95	－
11	その他の負債	45,839	26,922	－	442	－	45,141	19,837	－	50	－
12	うち、デリバティブ負債の額				442					50	
13	うち、上記に含まれない負債の額	45,839	26,922	－	－	－	45,141	19,837	－	－	－
14	利用可能安定調達額合計					4,513,187					4,396,694
所要安定調達額（2）											
15	流動資産の額					45,278					48,471
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	1,904	－	－	－	952	1,863	－	－	－	931
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	254,502	463,744	259,274	3,502,256	3,478,548	239,829	462,621	251,397	3,403,683	3,376,737
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	5,236	28,988	16,071	512,345	528,494	5,252	44,093	13,743	479,726	497,465
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額（項番18、19及び22に該当する額を除く。）	4,865	395,490	208,929	1,617,300	1,547,723	2,813	378,636	201,318	1,562,922	1,488,389
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	－	49,142	47,805	666,637	481,788	－	53,671	46,568	662,320	480,628
22	うち、住宅ローン債権	－	26,891	26,818	1,216,391	1,004,450	－	26,614	26,507	1,203,584	994,034
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	－	10,474	10,304	281,687	193,486	－	10,282	10,109	277,865	190,808
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	244,401	12,373	7,455	156,219	397,880	231,764	13,277	9,827	157,449	396,847
25	相互に関係する負債がある資産	－	－	－	73	－	－	－	－	95	－
26	その他の資産等	76,713	27,264	9,647	44,160	156,035	75,355	28,876	7,428	43,610	154,780
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	－				－	－				－
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）				－	－				－	－
29	うち、デリバティブ資産の額				－	－				－	－
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減ずる前）の額				115	115				59	59
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	76,713	27,264	9,647	44,045	155,920	75,355	28,876	7,428	43,550	154,720
32	オフ・バランス取引				764,808	38,013				756,311	37,590
33	所要安定調達額合計					3,718,827					3,618,511
34	単体安定調達比率					121.3%					121.5%

取締役員取 藤原 朗

常務取締役 **しみずさだはる**
清水貞晴
(営業本部長)

取締役監査等委員 **もり 森** **みほ 穂**
(社外取締役)

執行役員 間瀬正彦
(個人営業部長)



銀行業から未来創造業へ



○ホームページのご案内○

当行では、お客さまにご満足いただけるよう様々な活動、商品の開発に取り組んでおります。

最新のサービスの情報や、経営に関する情報につきましては、ホームページにてご覧いただけます。

<https://www.meigin.com/>

